

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事

### 1. 現場の状況

工事場所は、市営住宅として入居者の方が生活しています。現地の調査等は事前に施設管理者の承諾を得たうえで行ってください。

### 2. 留意事項

- (1) 本工事は、市配水本管より各戸までの給水配管を先行で更新し、その後隔測水道メーターから市水道局水道メーターに切替える工事です。
- (2) 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- (3) 工事工程については事前に施設管理者と十分協議・調整してください。
- (4) 工事施工中の災害及び事故防止に努め、適切な現場の安全管理を行い、市営住宅入居者の怪我のないよう、注意看板の設置及び養生を十分行ってください。特に機材搬入・搬出時には細心の注意をはらってください。
- (5) 関連工事業者および施設管理者と連携を密にとり、工事全体の円滑な施工に努めるとともに、契約工期を遵守してください。
- (6) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めると共に、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。
- (7) 現場代理人及び主任技術者の配置については、契約約款および建設業法等の違反とならないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。
- (8) 工事に伴い必要となる官公署への手続きは、受注者により速やかに行ってください。
- (9) 断水、騒音、振動等市営住宅入居者の生活に影響が生じる場合は、事前に連絡を行ってください。（文書の配布、声かけなど）
- (10) 給水負担金は、別途です。
- (11) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。損傷を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに復旧してください。

### 3. 別途関連工事

- ・電気設備工事

4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年（令和7年）5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規約」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、設備課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

5. 本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（建築関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

建築関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～13に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
  - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
  - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
  - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
  - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
  - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
    - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
    - イ 工場製作のみが行われている期間
    - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
  - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
  - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、

変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 経費については、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数により、労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費相当額とする。）を補正するものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上） 1.04

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上） 1.02

12 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

13 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

# 福山市引野町桃山住宅1～3号棟 給水設備改修工事

図面リスト					
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
W/1	機械設備工事特記仕様書No.1	—	W/11	2号棟 階段室配管要領図 (改修後)(撤去)	1:50
W/2	附近見取図・配置図 (改修後)	1:300	W/12	2号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	NO SCALE
W/3	1号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100	W/13	3号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100
W/4	1号棟 1～4階平面図 (改修後)	1:100	W/14	3号棟 1～3階平面図 (改修後)	1:100
W/5	1号棟 北立面図 (改修後)	1:100	W/15	3号棟 北立面図 (改修後)	1:100
W/6	1号棟 階段室配管要領図 (改修後)(撤去)	1:50	W/16	3号棟 階段室配管要領図 (改修後)(撤去)	1:50
W/7	1号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	NO SCALE	W/17	3号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	NO SCALE
W/8	2号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100	W/18	3号棟 1号棟R階平面図、ポンプ室平面図(撤去)	1:100 1:50
W/9	2号棟 1～3階平面図 (改修後)	1:100	/		
W/10	2号棟 北立面図 (改修後)	1:100	/		

## 福山市建設局建築部設備課

 福山市建設局建築部設備課					
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

# 福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 福山市引野町松山住宅1～3号棟給水設備改修工事

2 工事場所 福山市引野町北二丁目内

3 用途地域 第一種住居地域

4 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし

5 工事種別 ・ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ○ 改修

6 敷地面積 \_\_\_\_\_

7 建物概要

1) 構造 1号棟RC造4階建、2、3号棟RC造3階建

2) 面積 建築面積 \_\_\_\_\_  
延べ面積 \_\_\_\_\_

床面積	1号棟 RC・4F・16戸	
	2号棟 RC・3F・12戸	
	3号棟 RC・3F・12戸	

3) 附属施設 \_\_\_\_\_

8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 ( 5 ) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ( )

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。  
※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。  
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

II 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	工 事 種 目
① 給排水衛生設備工事	2. 空気調和設備工事
1 衛生器具設備工事	1 空気調和設備工事
2 給水設備工事	2 換気設備工事
3 排水設備工事	3 排煙設備工事
4 給湯設備工事	4 自動制御設備工事
5 給水設備工事	
6 厨房機器設備工事	
7 ガス設備工事	
8 浄化槽設備工事	

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

給水方式	○ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
排水方式	・ 自然流下 ・ ポンプ排水 ( ・ 汚物 ・ 水 ・ 雑排水 )
放流先	汚水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途斜
給湯設備	方式 ( ・ 局所式 ・ 中央式 ) 熱源 ( ・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油 )
消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡給水 ・ 消火器 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火
ガス設備	・ 都市ガス 種別13A(45MJ/N) ・ 液化石油ガス
浄化槽	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理
空気調和	・ 空気調和 ( ・ 中央ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ・ パッケージ方式 ) ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ( )
主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー 鑄鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ チリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 直だし吸収冷凍温水機 ・ 小形吸収冷凍温水機ユニット ・ コージェネレーション装置 ・ 氷蓄熱ユニット
換気設備	・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 ・ 全熱交換器
排煙設備	・ 機械排煙 ( ・ 有り ・ 無し ) ・ 適用法規 ( ・ 建基法 ・ 消防法 )
自動制御設備	・ 自動制御方式 ( ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ) ・ 中央監視制御装置

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1)官庁手続き  
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

(2)地元企業及び地場製品の活用  
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。

(3)疑義に対する協議等  
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様

(1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。  
(2)特記事項は※および○印のついたものを適用する。  
(3)引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)

- ・ 引渡し後点検 (第1次点検) 引渡し後の概ね1年後
- ・ 引渡し後点検 (第2次点検) 引渡し後の概ね2年後

章 項 目	特 記 事 項																																
① 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版)</li> <li>○建築基準法、消防法、その他関係法令</li> <li>○建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設課・住宅局建築指導課監修</li> <li>○建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達</li> </ul>																																
② 監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建築業法により定め、工事現場内において工事主、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。																																
3 電気保安技術者	・ 適用する。 ・ 適用しない																																
4 技能士	・ 適用する。 ・ 適用しない																																
⑤ 施工管理	<p>受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。 ※施工体制台帳(建築業法等に従って作成し、写しを提出する。)</p> <p>技術者台帳(施工体制台帳に添付) 監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。 ※施工体系図(建築業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)</p> <p>工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)</p> <p>形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。 工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。</p> <p>材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引渡しを要するもの ( )</li> <li>・ 現場において再利用を図るもの ( )</li> </ul> <p>※ 再資源化を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材</li> <li>・ コンクリート及び鉄からなる建設資材</li> </ul> <p>※上記以外のものはすべて構内へ搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)、 「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。)、 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。 )その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。 ※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <td>施工計画時</td> <td>工事完了時</td> </tr> <tr> <td>搬入</td> <td>再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出</td> <td>再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用促進実施書</td> </tr> </table> <p>※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。 なお、本工事は広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編-」によるほか特記がない場合は、以下による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>規格</th> <th>撮影枚数</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着手前</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>必要に応じた数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>必要に応じた数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>各室4面 外景4面</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。</li> <li>○原版等の提出 する( ・ 完成時のみ ○全て ) ・ しない</li> <li>○提出の方法及び形式は、監督員の指示による。</li> </ul> <p>速やかに次の図書を提出する。</p> <table border="1"> <tr> <td>竣工図</td> <td>○A3版2つ折りにして製本 ( ) 2部</td> </tr> <tr> <td>完成図</td> <td>○ 竣工図</td> </tr> <tr> <td>保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)</td> <td>○ 竣工図電子データ(施工図含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)</td> </tr> <tr> <td>CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)</td> <td>○ 竣工図電子データ</td> </tr> </table> <p>施工範囲「工事区分表」による。 ※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p>	施工計画時	工事完了時	搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書	分類	規格	撮影枚数	提出部数	着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1	工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1	完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外景4面	1	竣工図	○A3版2つ折りにして製本 ( ) 2部	完成図	○ 竣工図	保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)	○ 竣工図電子データ(施工図含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)	CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)	○ 竣工図電子データ
施工計画時	工事完了時																																
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書																															
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書																															
分類	規格	撮影枚数	提出部数																														
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1																														
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1																														
完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外景4面	1																														
竣工図	○A3版2つ折りにして製本 ( ) 2部																																
完成図	○ 竣工図																																
保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)	○ 竣工図電子データ(施工図含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)																																
CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)	○ 竣工図電子データ																																
⑥ 発生材の処理																																	
⑧ 工事及び完成写真																																	
⑨ 完成時の提出図書																																	
10 関連工事等の調整等																																	

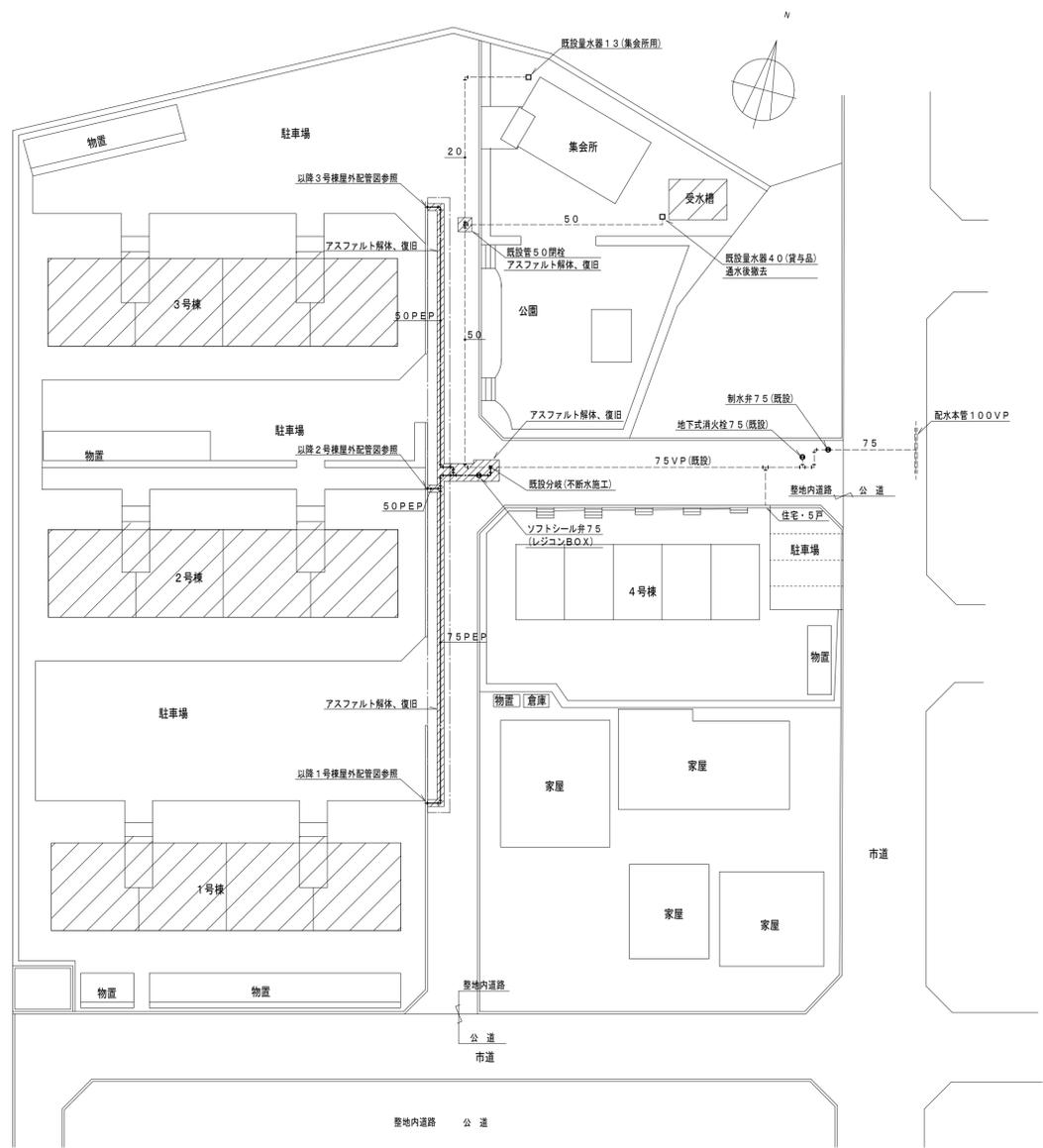
① 足場	<p>建築工事に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本工事で設置する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内部足場 ( ・ 単管足場 ・ 枠組足場 )</li> <li>○ 外部足場 ( ○ 枠組足場 ・ 単管足場 )</li> </ul> </li> </ul> <p>※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組み立て、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。</li> <li>・ 本工事は、交通誘導員として 18人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。</li> </ul> <p>※受注者は、次表に使い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。</p> <table border="1"> <tr> <td>請負金額</td> <td>工事受注時</td> <td>登録内容の変更時</td> <td>工事完成時</td> </tr> <tr> <td>500万円以上</td> <td>契約後10日以内</td> <td>変更契約後10日以内</td> <td>工事完成後10日以内</td> </tr> </table> <p>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負内容のみ変更の場合、登録不要)※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)受注者は、次表に従い、情報共有システムを利用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金 額</th> <th>利用形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計金額3,500万円以上</td> <td>発注者指定型</td> </tr> <tr> <td>当初契約金額500万円以上</td> <td>受注者希望型</td> </tr> </tbody> </table> <p>発注者指定型の場合、システム利用料を見込んでいる。 本工事で利用する情報共有システム</p> <p>&lt;広島県工事情報共有システム&gt; http://www.hdobokuk.or.jp/koujiyouhoushisutemu2.html</p> <p>受注者は、情報共有システムの利用の有無について、契約後速やかに発注者と協議して決定する。 情報共有システムを利用する場合、受注者は(一社)広島県土木協会に申し込みし、利用料を支払う。 情報共有システムの利用は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)</li> <li>・ 情報共有システム利用引用(建築工事)</li> </ul> <p>下記項目の測定を行ない監督員に提出する( 部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃</li> </ul> <p>○飲料水(雑用水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度 測定箇所等は、監督員の指示による。</p> <p>監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空気調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明帳を作成し、指示する箇所に取付ける。 特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転ブロック図に適合するものとする。</li> <li>・ ボイラー及び冷水温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による</li> <li>・ 合成ゴム製( 球形 ) ・ ベローズ形</li> </ul> <p>標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(鋪装部分は ・ 鉄製 ・ コンクリート製) 排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。 既存のコンクリート壁、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 又は溶融垂れつけ仕上げとする。</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならない補修する。 ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製( SUS304 )とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製( SUS304 )</p> <p>設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは( )とする。</p> <p>標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) ポリスチレンフォーム 一般給配管、排水配管の多温場所</li> <li>ロ) グラスウール オート給配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等</li> <li>ハ) ロックウール オート排水ダクト、排煙ダクト</li> </ul> <p>ベトラウム系防水テープ (1/2重ね、1回巻き) +プラスチックテープ(1/2重ね、1回巻き) プチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻)</p> <p>熱収縮材</p> <p>標準仕様書及び図示による。</p> <p>外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管(VU)とする。 (柱及び梁以外の箇所で、開口補強が必要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)</p> <p>図面に記載されている数値以上とする。</p> <p>” 以下とする。</p> <p>防火区画の貫通処理は、建築基準法令に適合する工法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管</li> </ul> <p>非破壊検査の適用 ※ 無し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有り ( ・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)</li> </ul> <p>判定基準 ( )</p> <p>抜取率は ・ 標準仕様書による</p>	請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時	500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内	金 額	利用形態	設計金額3,500万円以上	発注者指定型	当初契約金額500万円以上	受注者希望型
請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時												
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内												
金 額	利用形態														
設計金額3,500万円以上	発注者指定型														
当初契約金額500万円以上	受注者希望型														
② 施工中の安全確保															
③ 工事実績情報システム(CORINS)への登録															
④ 情報共有システム															
⑤ 測定表															
16 説明板															
17 電線類															
18 機器附属の制御盤															
19 防振継手															
⑳ 埋設表示															
㉑ はつり工事															
㉒ 補修など															
㉓ 支持金物・固定金具															
24 耐震施工															
㉔ 保温材															
26 鋼管類の地中埋設															
27 鋼管類の地中埋設(コンクリート内等)															
28 塗装															
29 スリーブ															
30 機器性能															
31 電気容量															
32 防火区画の貫通処理															
33 浴接配管の検査															
34 化学物質の測定															
㉕ 施工調査															
36 その他															

① 工事現場仮囲い	○ ナイロンロープ張り ・ 木製仮囲い ・ 鋼製仮囲い ・ しない
2 受注者事務所等	・ 敷地内に建てることができる。
③ 工事用水	構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ・ 無償で利用できる ○ 利用できない(計メーター設置等)
④ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ・ 無償で利用できる ○ 利用できない(計メーター設置等)
5 引渡しまでの光熱水費	・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 別途 ・ 本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・ 別途
1 衛生陶器附属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は繊維材塗装加工とする。</li> <li>・ 図示陶器品番 JIS記号 ・ 図示陶器品番 TOTOP記号(同等品以上)</li> <li>・ ブラッシュバルブ ・ ロータンク</li> <li>・ ブラッシュバルブ ・ 自動洗浄 (個別 ・ 集電) ・ 小便器</li> <li>・ バキュームブローカー付</li> <li>・ 陶器製 ・ 防露形陶器製 ・ 合成樹脂製 ・ 防露形合成樹脂製</li> <li>・ 普通便座 ( ・ 蓋有り ・ 蓋無し ) ・ 温水洗浄便座 ・ 暖房便座</li> <li>・ 陶器製 ・ 金属製</li> <li>・ 化粧鏡 ・ 耐食鏡 ・ 盗難防止形</li> <li>・ 和風便器耐火カバー ・ 設ける ( ピットは除く ) ・ 設けない</li> <li>・ 止水栓付</li> <li>・ 洗面器</li> <li>・ 洗面器</li> <li>・ 紙巻器</li> </ul> <p>経工時ペーパーを設置する。 ( ・ ファンタッチ式 ・ ワンハンドカット式 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台所流し用水栓は、泡沫式とする。</li> </ul> <p>竣工時水セッケンを補充する。 (水セッケン共)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶器付形 ・ 壁付形</li> <li>・ 埋込形 ・ 壁付形</li> </ul>
1 衛 生 器 具	( 屋 内 )
① 給水方式	○ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
② 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB</li> <li>・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD</li> </ul> <p>○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ( JIS K 6742 ) ( ○ H I V P ・ V P )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 架橋ポリエチレン管 ( JIS K 6769、 JIS K 6787 )</li> <li>・ ポリブテン管 ( JIS K 6778、 JIS K 6792 )</li> <li>○ ポリエチレン管 ( JIS K 6762、 JWWA K 144 )</li> <li>・ 一般配管用ステンレス鋼管 ( JIS G 3448 ) SUS304</li> </ul> <p>○ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス製ベローズ形 ○ 合成ゴム製円筒形</li> <li>・ ベローズ形単式 ・ ベローズ形複式</li> <li>・ FRP製 ( サンドイッチ構造 ) ・ FRP製</li> <li>・ 鋼板製 ( ・ パネル形 ・ 一体形 ) ・ ステンレス製パネル ( ・ 溶接 ・ ボルト )</li> <li>・ FRP製 ( サンドイッチ構造 ) ・ FRP製</li> <li>・ 鋼板製 ( ・ パネル形 ・ 一体形 ) ・ ステンレス製パネル ( ・ 溶接 ・ ボルト )</li> <li>・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射</li> </ul>
③ 弁	○ 標準 型 ・ 防振 型
④ フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ○ 合成ゴム製円筒形
5 伸縮管継手	・ FRP製 ( サンドイッチ構造 ) ・ FRP製
6 高置水槽	・ 鋼板製 ( ・ パネル形 ・ 一体形 ) ・ ステンレス製パネル ( ・ 溶接 ・ ボルト )
7 受水槽	・ 鋼板製 ( ・ パネル形 ・ 一体形 ) ・ ステンレス製パネル ( ・ 溶接 ・ ボルト )
8 鋼板製水槽の防錆	・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
9 湯水及び加圧給水ポンプ	・ φ × /min × m × kW × 台
10 ポンプ基礎	・ 標準 型 ・ 防振 型
( 屋 外 )	
① 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB</li> <li>・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD</li> </ul> <p>○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ( JIS K 6742 ) ( ○ H I V P ・ V P )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポリエチレン管 ( JIS K 6762、 JWWA K 144 )</li> <li>・ 架橋ポリエチレン管 ( JIS K 6769、 JIS K 6787 )</li> <li>・ ポリブテン管 ( JIS K 6778、 JIS K 6792 )</li> <li>・ 一般配管用ステンレス鋼管 ( JIS G 3448 ) SUS304</li> </ul>
② 弁	○ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
③ 弁	○ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
④ 弁	○ 市規格品 ○ VC形 (部品)
⑤ 弁	・ 買入 ○ 借用
⑥ 埋設深さ	○ 水道局規格品 ・ MC形
⑦ 埋設深さ	・ 300mm以上 (車両道路以外) ○ 600mm以上 (車両道路) ○ 凍結深度(400mm)以上
17 建物導入部配管	・ 標準図による。
18 雨測メーター	・ 変位を吸収できるようにスリーションとする。
⑨ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモート型 ・ 流量計 台</li> </ul> <p>鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。 給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。 水圧試験は配管途中、隠へて戻戻し又は配管完了後の被覆施工前に、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管工事に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。</li> <li>・ 飲料水以外の給水管は、該接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。</li> </ul>
福山市引野町松山住宅1～3号棟給水設備改修工事	
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 No. 1	
2024年 4月	
福山市建設局建築部設備課	



附近見取図 S=N, S

工事概要	
本工事は、市配水管より各戸迄の給水管を先行で更新し、その後、P S内各戸メーターから市水道局水道メーターに切替える工事である。	
特記事項	
1.	施工前の水質検査を行う。
2.	工事工程は、関連工事と調整の上、市営住宅入居者と協議し生活に支障が出ないよう行う。
3.	市営住宅入居者の怪我のないよう、注意看板・養生を行う。
4.	断水、騒音、振動等市営住宅入居者の生活に影響が生じる場合は、事前に連絡する。(文章、声かけなど)
5.	工事中、断水が必要な場合は、管理者及び水道局と協議を行う。
6.	既設給水管への新設給水管接続時には、水の汚れ、異物が入らないよう管洗浄を十分行う。
7.	隔測水道メーターから市水道局への更新時は、水道局と事前協議を十分行う。
8.	市水道局水道メーター取付に伴う検査日を事前に調整し、立会いをする。
9.	隔測水道メーターは、製造メーカーへ返却する。(再資源化する。)
10.	竣工完了時の完了検査(日程調整含む)を受検する。
11.	ソフトシール弁のハンドルを予備品で納入する。(1個)
12.	舗装復旧範囲は、舗装影響部を含む。



配置図 S = 1 : 300

- 敷地内道路部分の配管は・GL-600(配管天端)とする。
- 埋設管の上、下100mmは、ダスト埋戻しとし、以降根切り良質土で埋戻しを行う。
- 路面復旧は、仮復旧後、1ヶ月後に本復旧を行なう。
- 本管分岐、コマ下げ工事中の交通誘導員は、18人程度見込む。

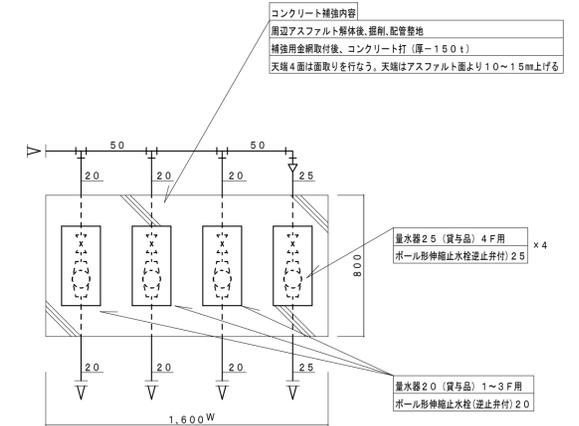
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

<b>福山市建設局 建築部 設備課</b> 主務 係長 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長	工事名称 <b>福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事</b>	日付 2024年 2月	<b>I. 設備企画</b> 〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	図面 No. <b>W</b> 2
	図面名称 <b>附近見取図・配置図 (改修後)</b>	縮尺 1:300		

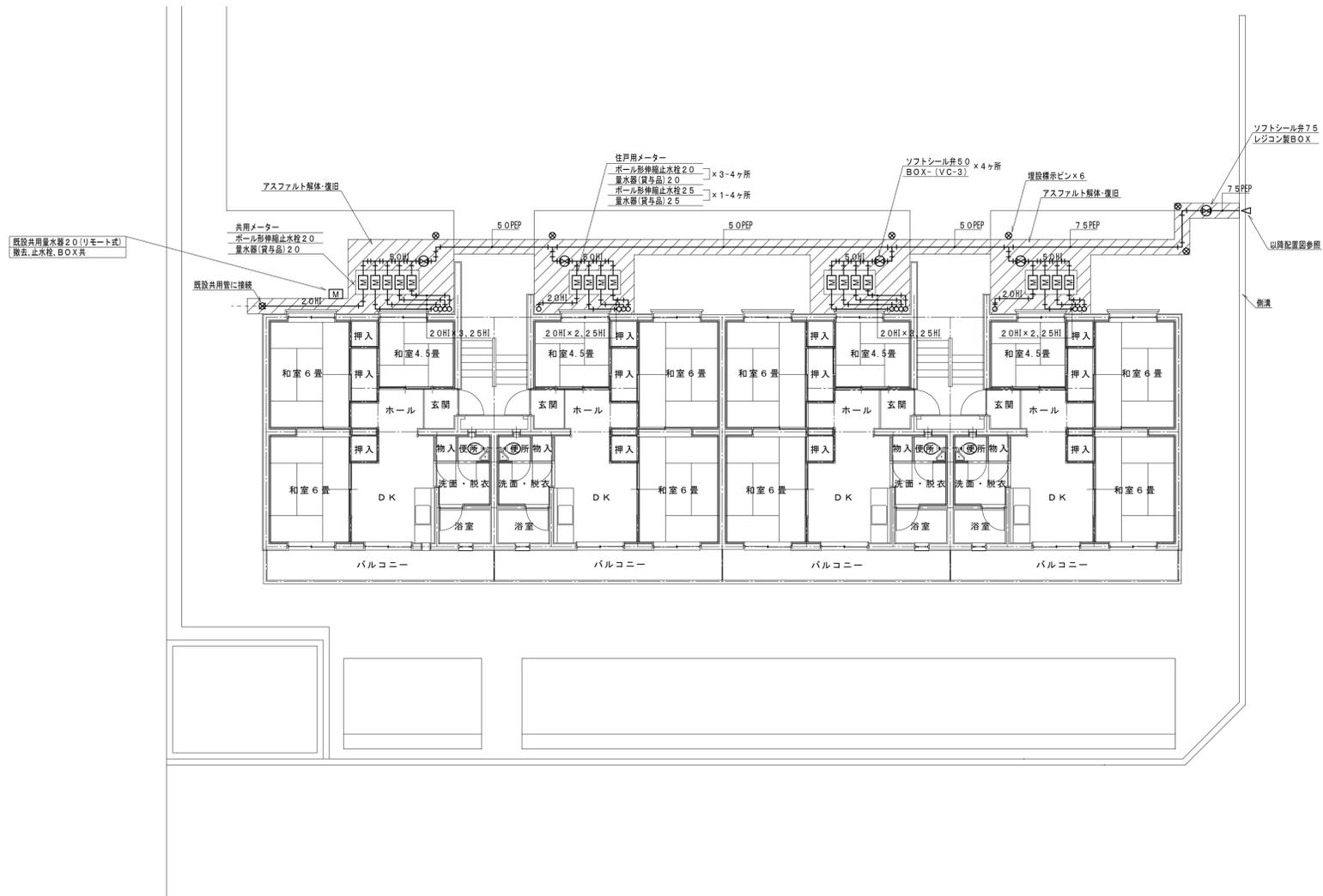
凡例		(1号棟屋外)		
記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	配水本管～ メーター分岐配管迄	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP)	裸・地中埋設配管
		屋外地中配管 (共用給水管共)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	裸・地中埋設配管

屋外給水器具リスト (1号棟)			
品名	仕様	数量	
ソフトシール弁	7.5 (引込管敷地内)	1	
ソフトシール弁	5.0	4	
弁BOX	レジコン製	1	
弁BOX	VC-3	4	
量水器	2.0 (貸与品) 直読式・(共用共)	13	
量水器	2.5 (貸与品) 直読式	4	
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 2.0	13	
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 2.5	4	
量水器BOX	2.0～2.5A用 (積鉄製)	17	
埋設標示ピン		6	

※共用量水器器具は、既設再使用とし、本工事で既設配管に接続する。



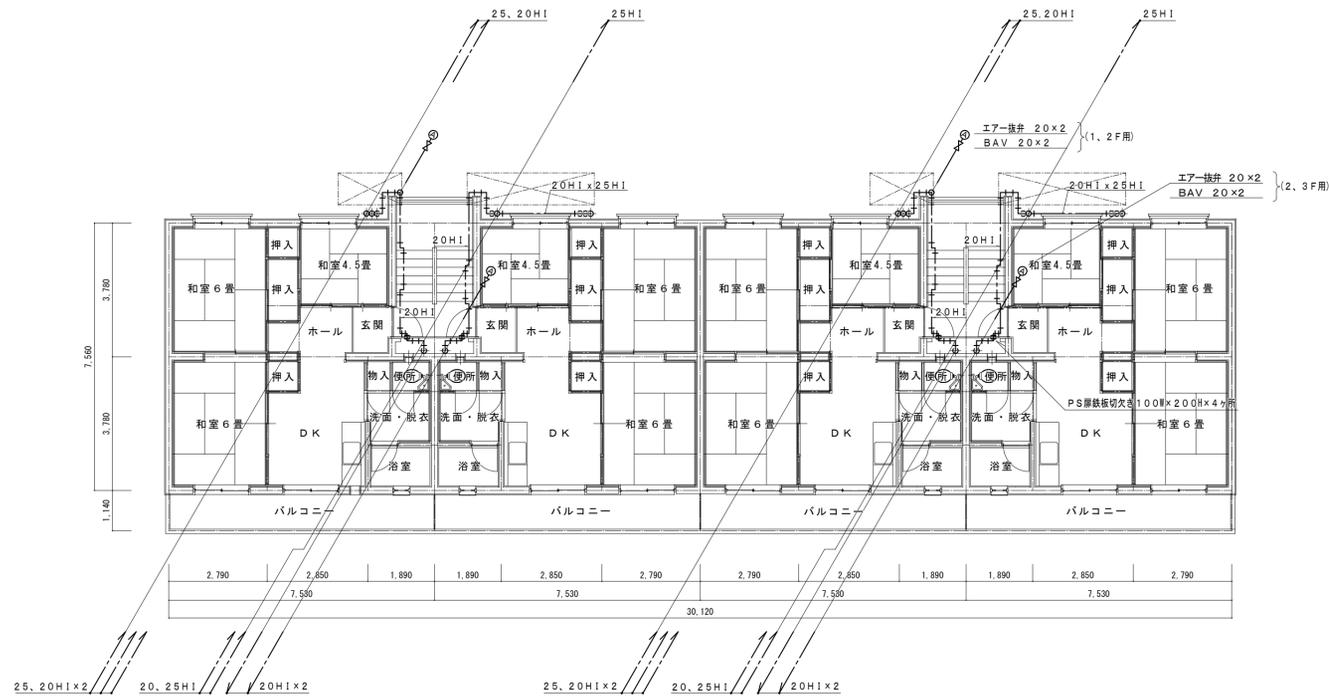
量水器BOX廻り要領図 S=1:20 (量水器4個設置の場合) 共用メーター併設部のWは、2000とする。  
※量水器の配置は、配管ルート(1～4F)に合わせる。



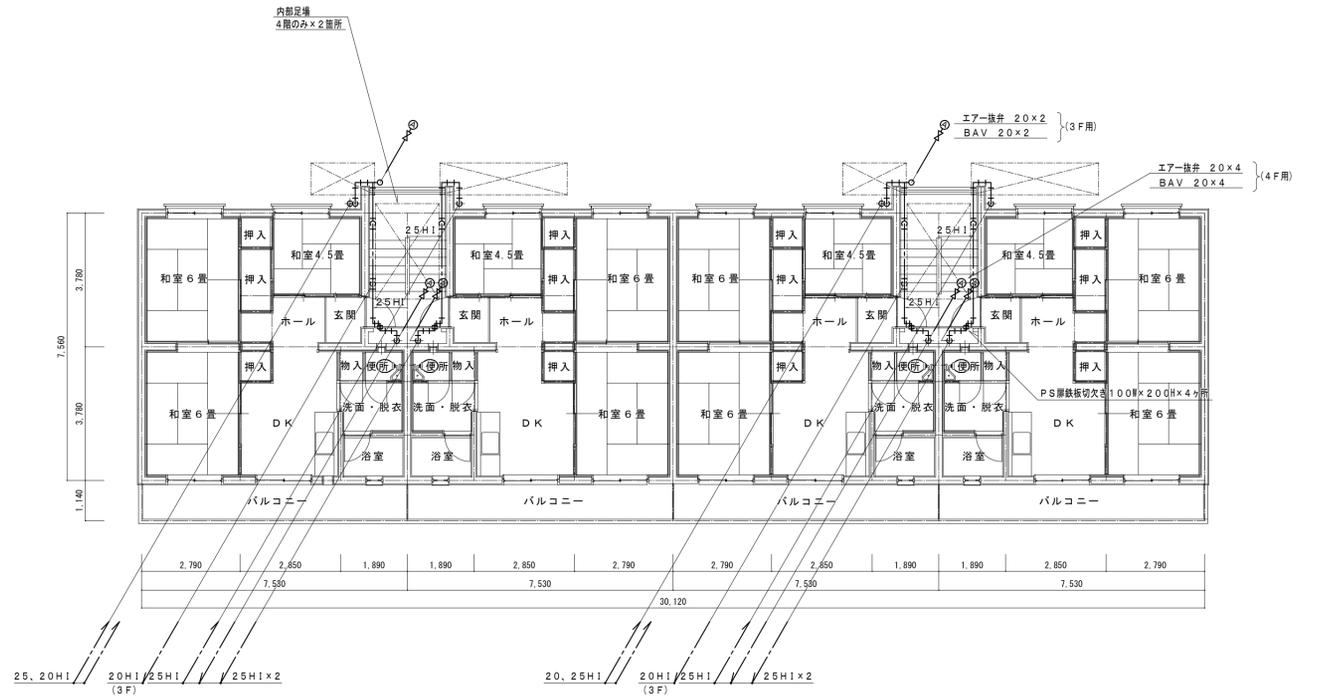
1号棟屋外配管図 S=1:100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

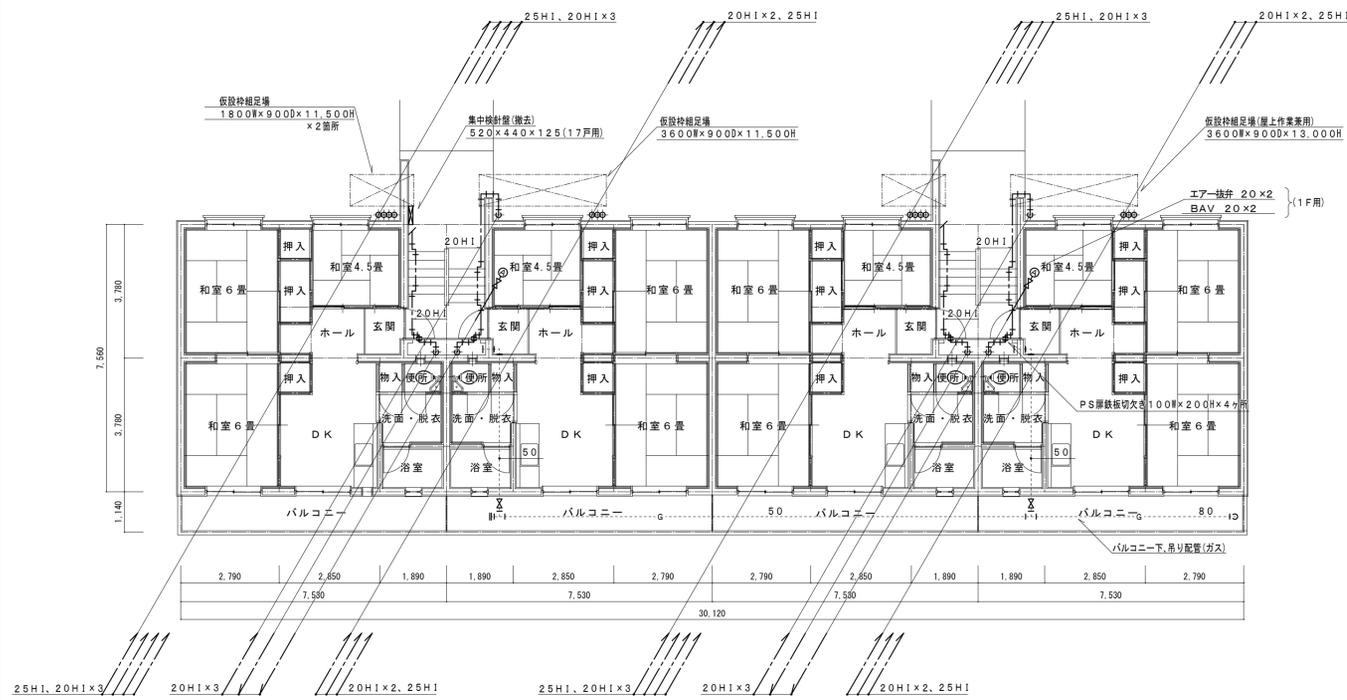
福山市建設局 建築部 設備課						図面NO.
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長	W 3
I 設備企画						
工事名称 福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事			日付 2024年 2月		〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	
図面名称 1号棟 屋外給水配管図 (改修後)			縮尺 1:100			



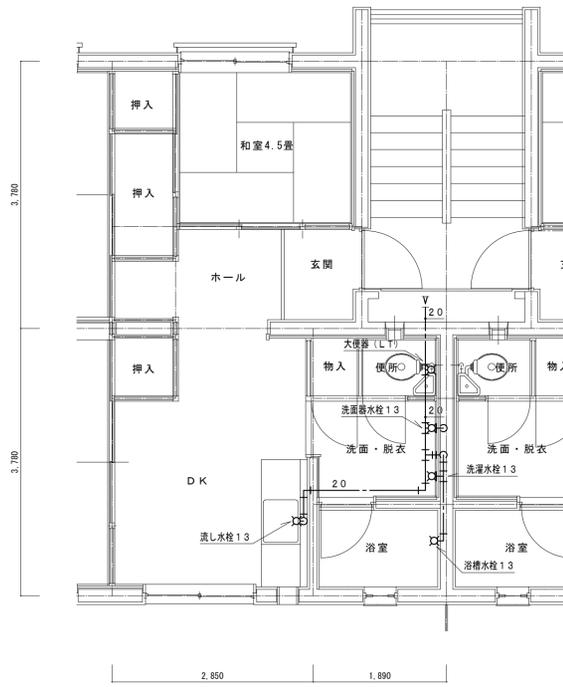
2~3階平面図 1:100



4階平面図 1:100



1階平面図 1:100



4階最遠部住戸給水配管 1:50 (参考図)

※改修工事範囲外

器具リスト (1~4F)

品名	仕様	数量
エアコン	20	16
ボールバルブ	20 (10K)	16

凡例 (屋内配管)

記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	外壁屋空配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+ステンレス鋼板
		階段室、廊下配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+合成樹脂カパー
		P S 内	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+アルミガラスクロス

縮尺率 A-1: 100%  
A-2: 71%  
A-3: 50%

福山市建設局建築部設備課

図面NO W 4

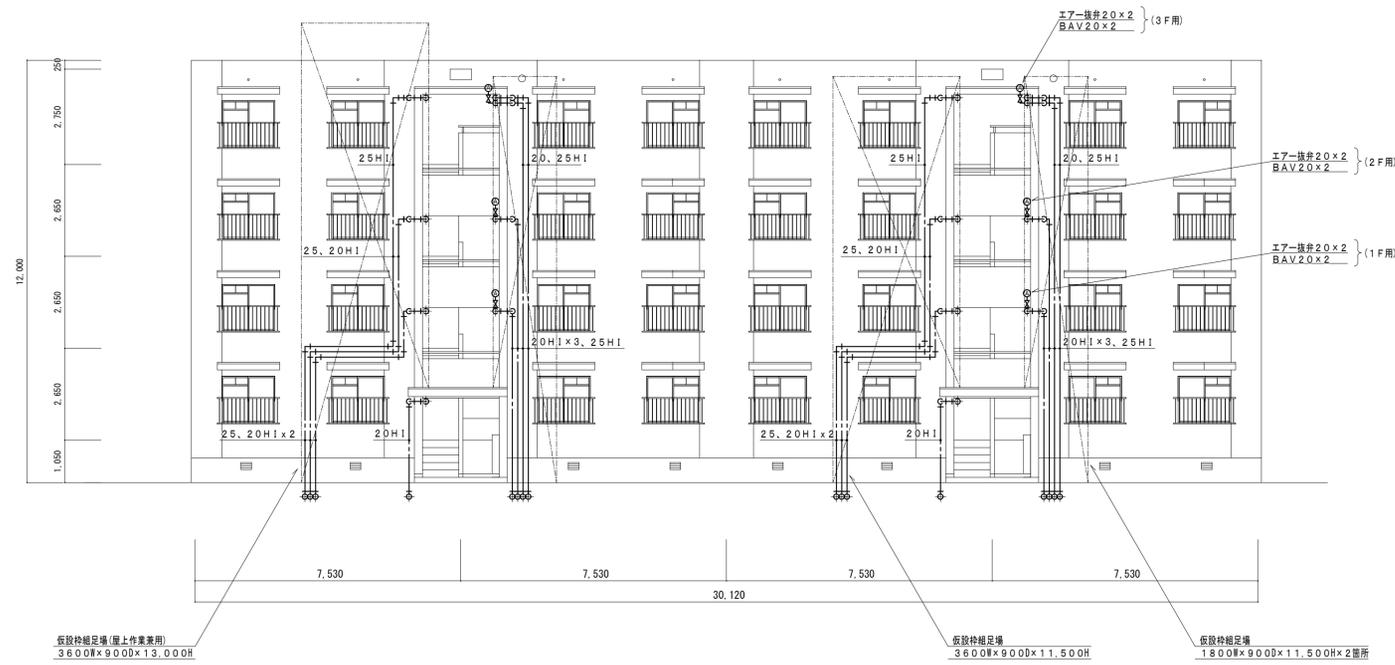
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長
----	----	--------	------	------	------

工事名称	福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事	日付	2024年 2月	I. 設備企画
図面名称	1号棟 1~4階平面図 (改修後)	縮尺	1:100	
TEL (084) 981-4877		TEL (084) 981-4877		

外壁架空配管注意事項

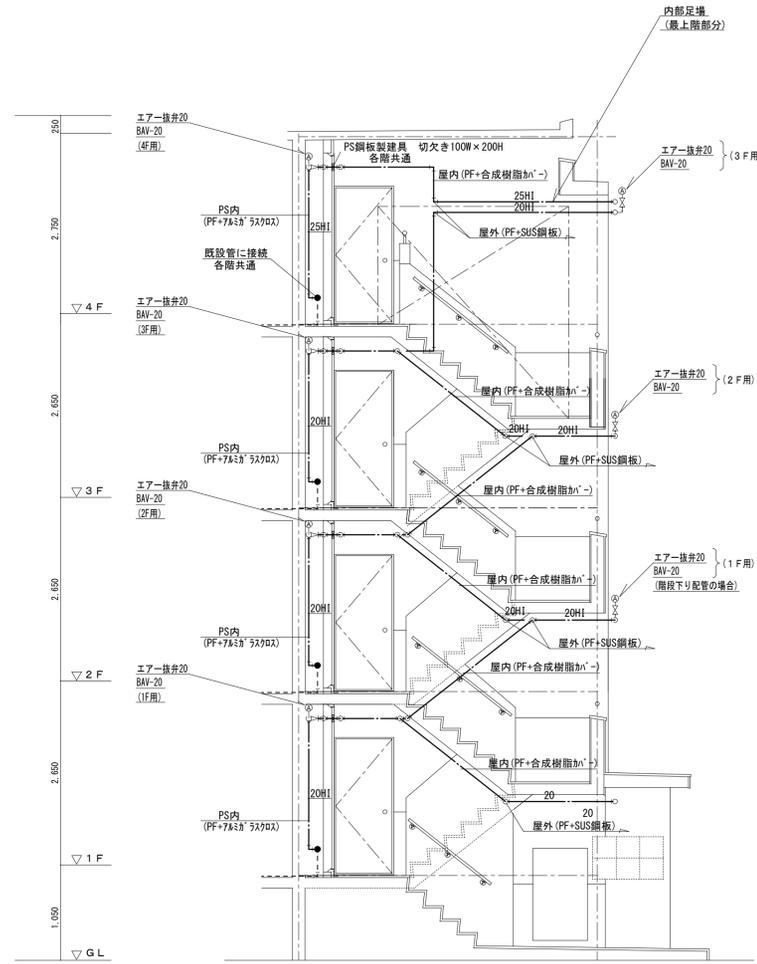
- ・管材は、すべて、20A、25A H I V Pとする。
- ・立て管、横走り管の支持金物取付ピッチは、すべて、1.0m以下とする。
- ・棒鋼及び、取付バンドは、すべて、SUS製とする。
- ・保温仕様は、P F保温筒+SUS製鋼板巻上とする。

※仮設枠組足場設置及び、解体時は、入居者の通行には、十分に注意して、作業を行なう事。



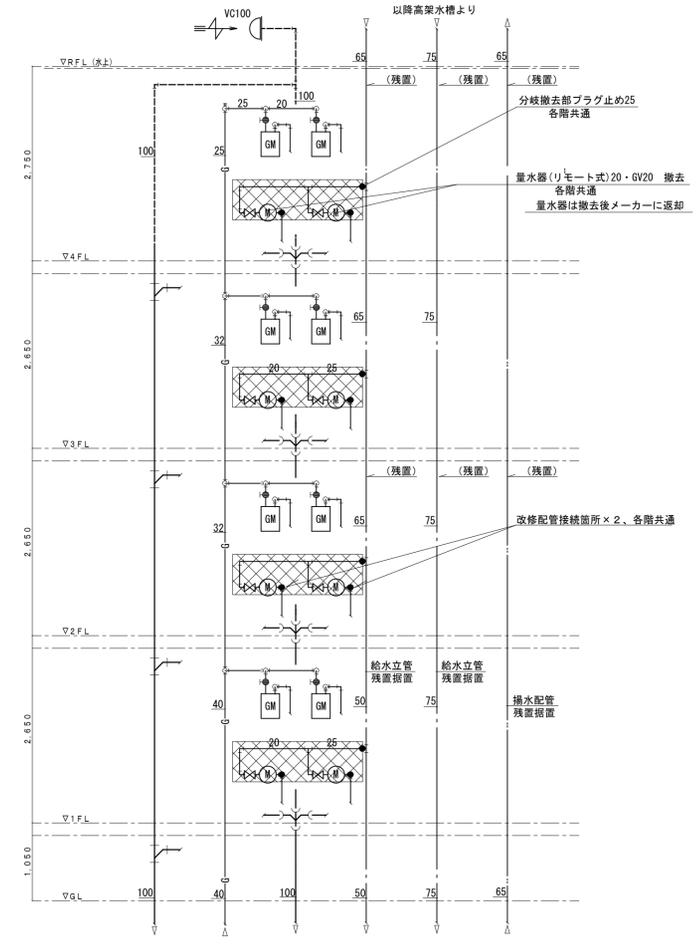
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

		<b>福山市建設局 建築部 設備課</b>		図面 N O												
工事名称	福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事	日付	2024年 2月	<table border="1"> <tr> <td>主務</td> <td>係員</td> <td>第1担当次長</td> <td>課長補佐</td> <td>設備課長</td> <td>建築部長</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長						
主務	係員	第1担当次長	課長補佐		設備課長	建築部長										
図面名称	1号棟 北立面図 (改修後)	縮尺	1:100	W												
		<b>I . 設 備 企 画</b> 〒721-0052 広島県福山市瑞町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877		5												



1号棟階段室断面配管要領図 S=1:50

※ 階段室配管支持金物は1.0mピッチ以下とする。  
 エア一抜弁は、住戸配管の最頂部に設置する。

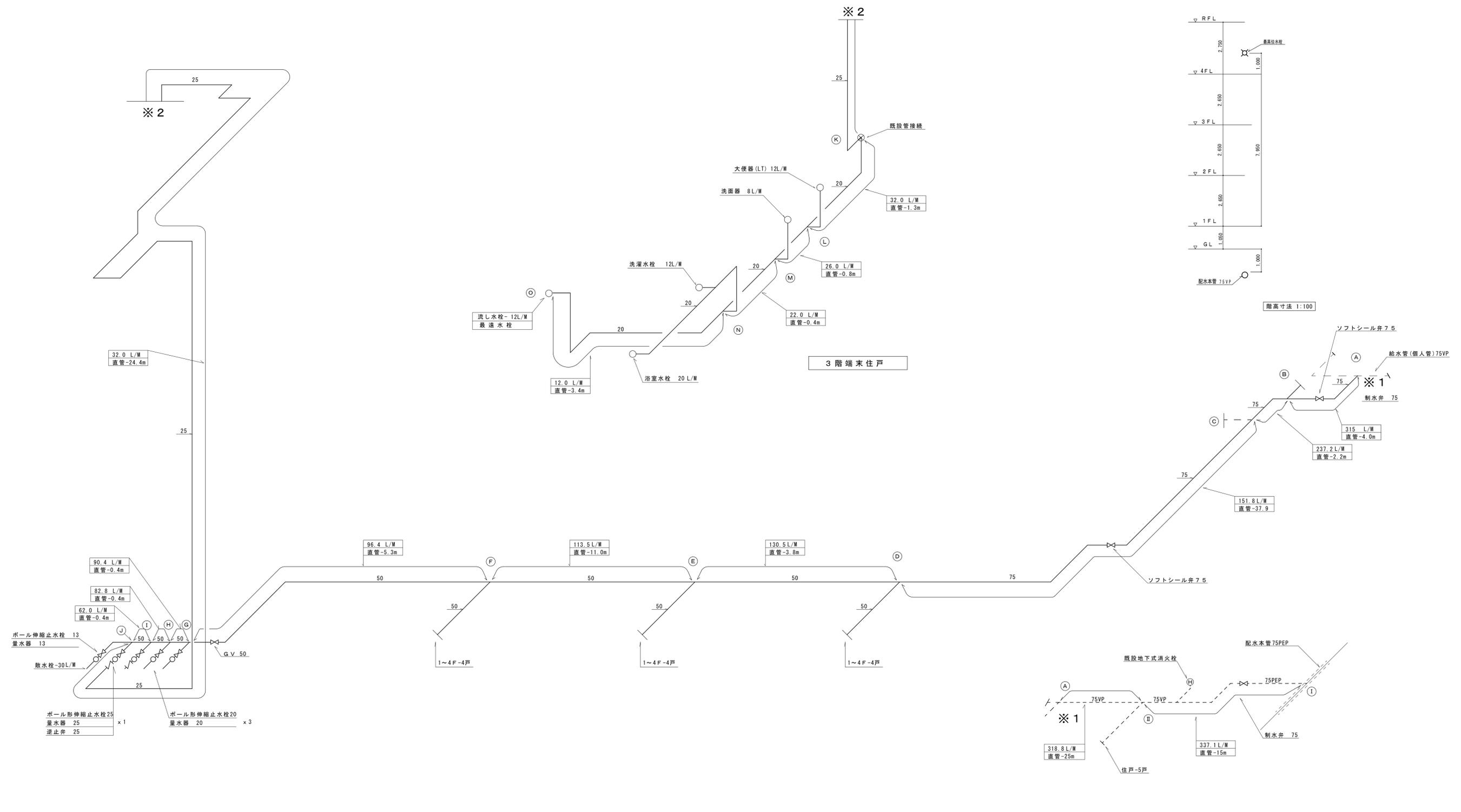


※汚水・雑排水・ガス配管は残置再使用  
 配管・弁類撤去範囲  
 保温材アスベスト含有範囲  
 20A90°曲り部、17Dア一、1PS部分×7ヶ

既存 1号棟階段PS内配管系統図 NoScale

- 撤去器具リスト(住戸用)
- GV(5K)20A 8ヶ×2PS=16ヶ(1棟分)
  - 量水器(リモート式)20A 8ヶ×2PS=16ヶ(1棟分)
  - 量水器保温加(ケレシ製)20A用 8ヶ×2PS=16ヶ(1棟分)
  - PS内撤去給水管材 SGP-VB20、25A
  - 保温仕様・GW+綿布巻

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



桃山住宅1号棟 給水管アイソメ図  
(直結直圧方式)

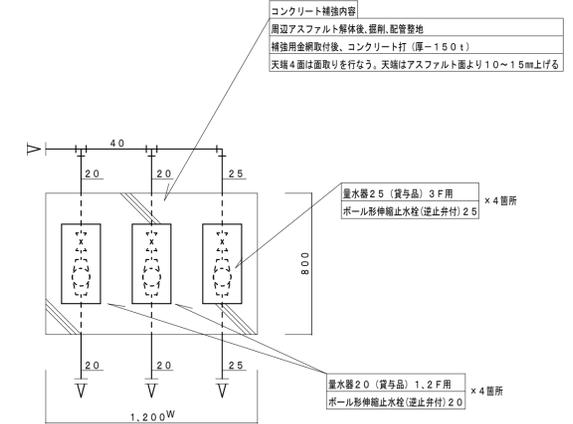
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

工事名称 <b>福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事</b>		日付 2024年 2月		<b>I. 設備企画</b>		福山市建設局建築部設備課		図面NO. <b>W</b>	
図面名称 <b>1号棟 給水管アイソメ図 (改修後)</b>		縮尺 NO SCALE		〒721-0952 広島県福山市引野町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877		主務 係員 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長		7	

凡例 (2号棟屋外)		施工場所	管種	保温仕様
記号	名称	配水本管~ メーター分岐配管迄	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP)	裸・地中埋設配管
		屋外地中配管 (共用給水管共)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	裸・地中埋設配管

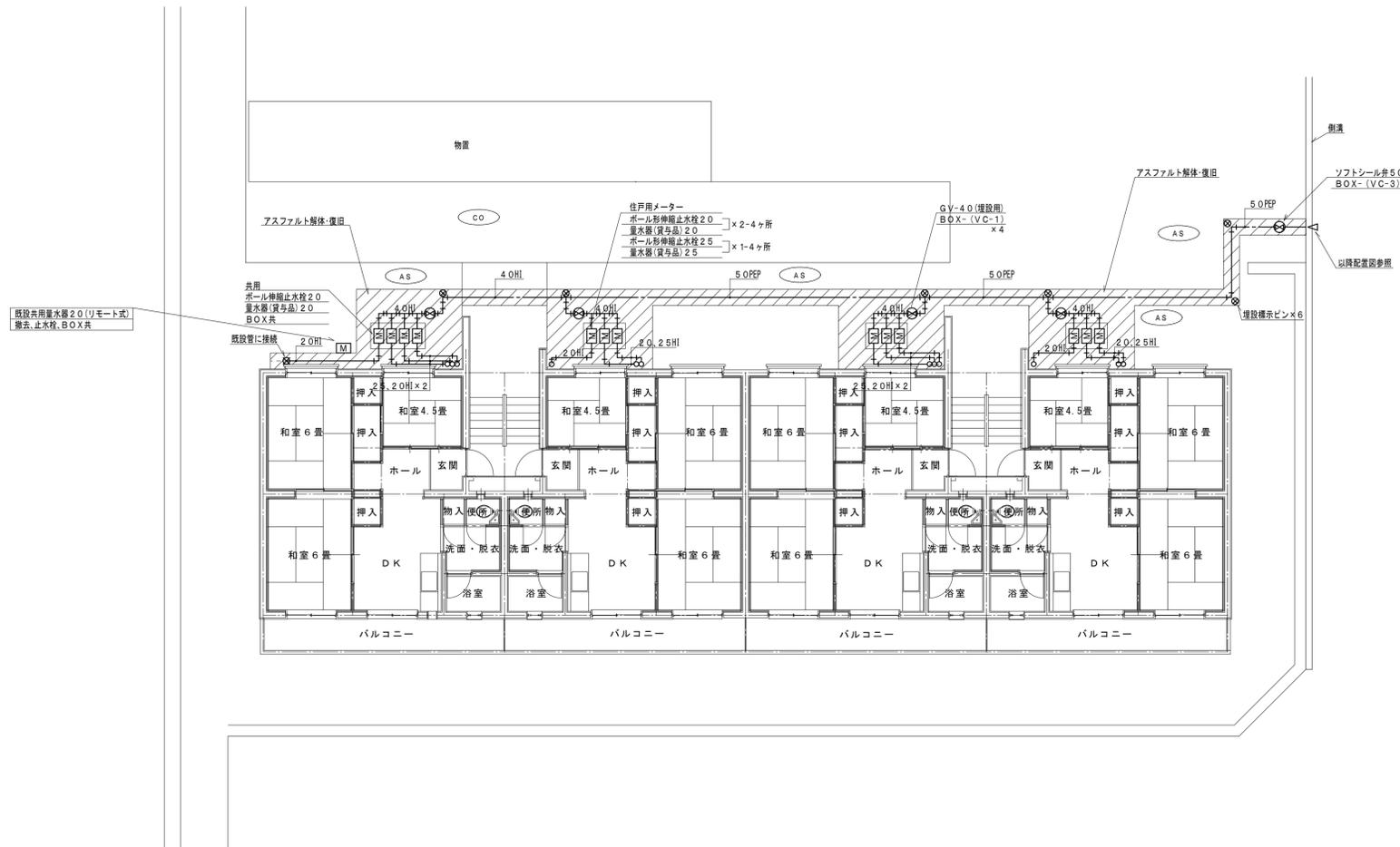
屋外給水器具リスト (2号棟)		
品名	仕様	数量
ゲート弁	40 (埋設用)	4
全上BOX	VC-1	4
ソフトシール弁	50	1
全上BOX	VC-3	1
量水器	20 (貸与品) 直設式・(共用共)	9
量水器	25 (貸与品) 直設式	4
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 20	9
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 25	4
量水器BOX	20~25A用 (排鉄製)	13
埋設標示ピン		6

※共用水栓器具は、既設再使用とし、本工事で既設配管に接続する。



量水器BOX廻り要領図 S=1:20 (量水器3個設置の場合) 端末共用メーター併設部のWは1600とする。

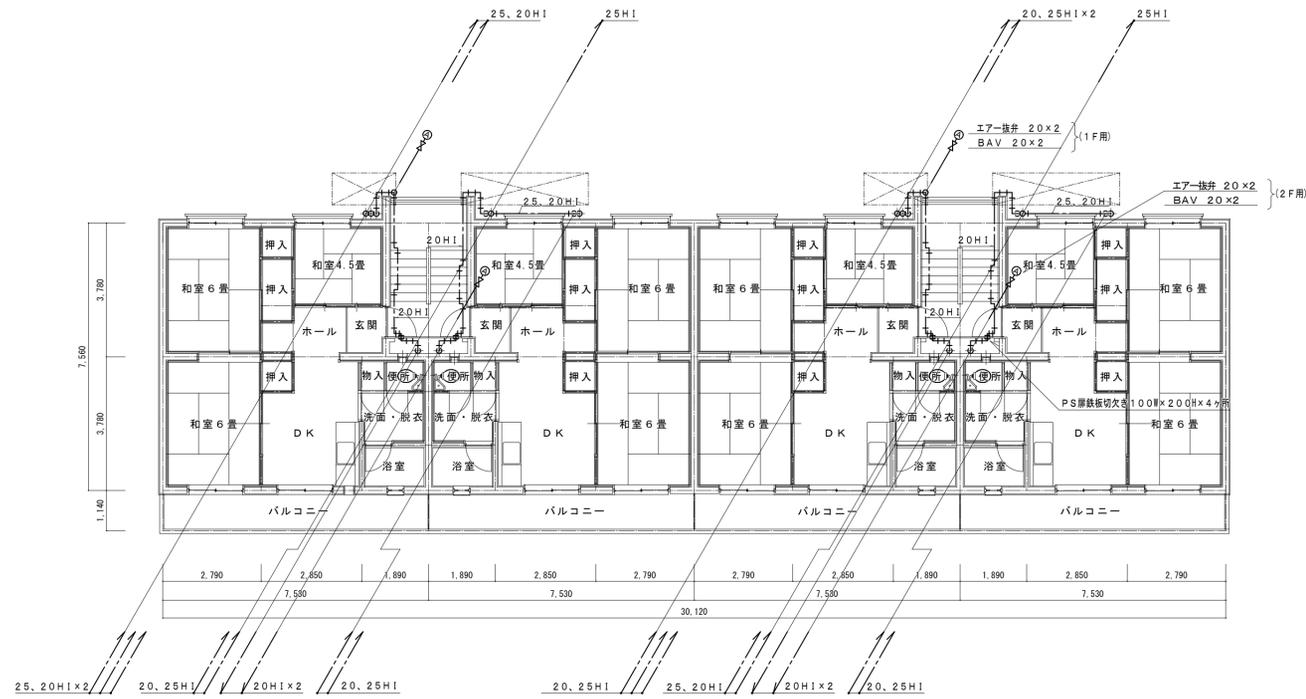
※量水器の配置は、配管ルート(1~3F)に合わせる。



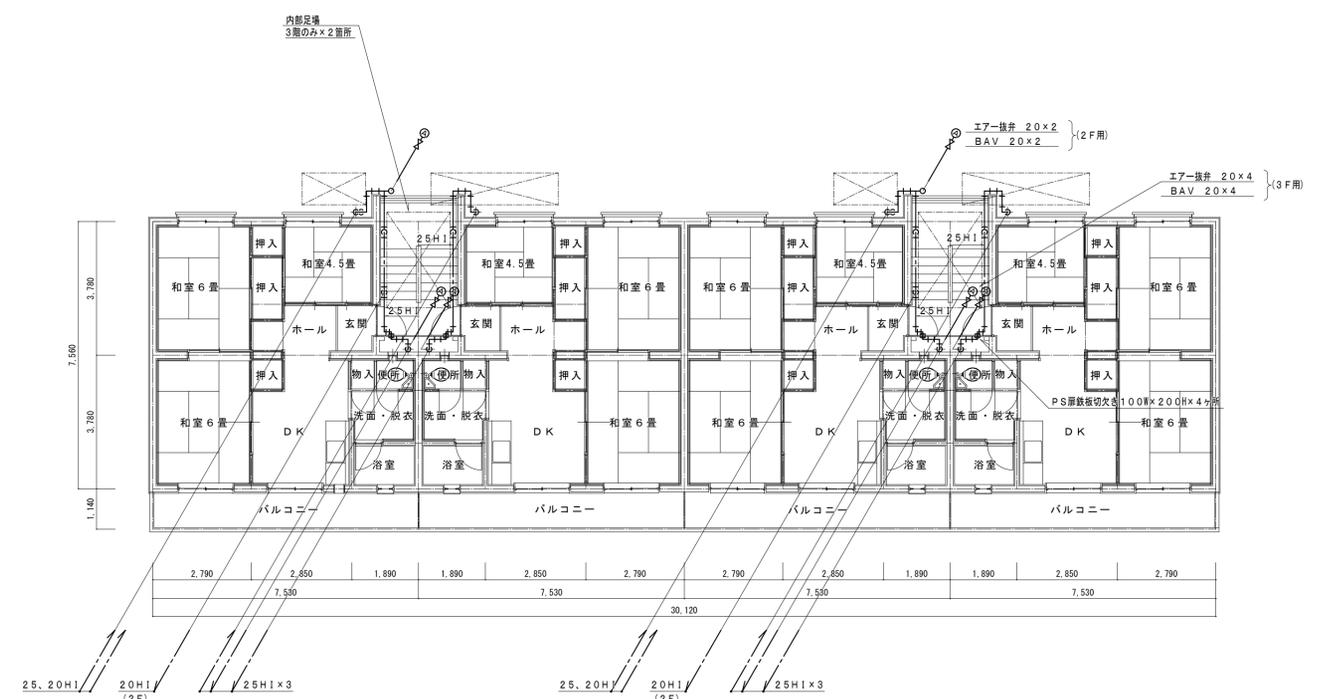
2号棟屋外配管図 S=1:100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

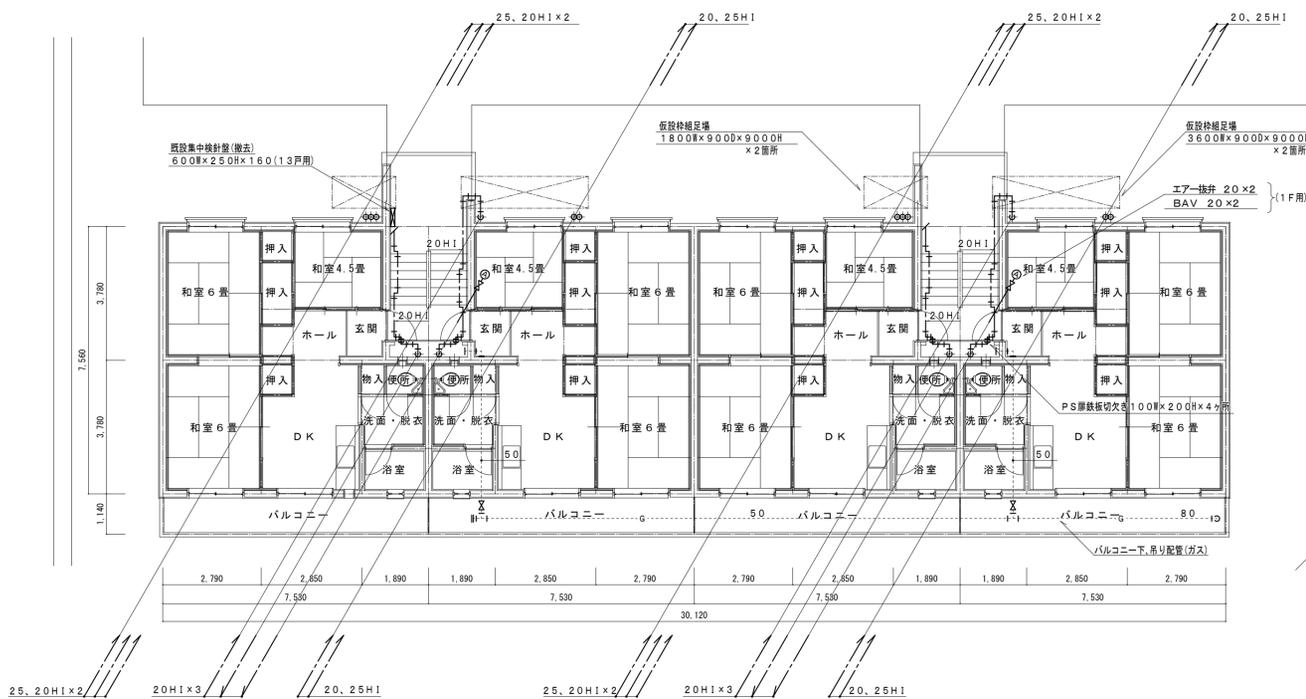
福山市建設局 建築部 設備課						図面NO.
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長	W 8
I 設備企画						
工事名称 福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事			日付 2024年 2月	〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877		
図面名称 2号棟 屋外給水配管図 (改修後)			縮尺 1:100			



2階平面図 1:100



3階平面図 1:100



1階平面図 1:100



3階最遠部住戸給水配管 1:50

※改修工事外部分

器具リスト (1~3F)

品名	仕様	数量
エアークレナー	20	12
ボールバルブ	20 (10K)	12

凡例 (屋内配管)

記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	外壁屋空配管 階段室、廊下部分	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+ステンレス鋼板
---		階段室、露出配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+合成樹脂カパー
---		P S 内	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+アルミガラスクロス

縮尺率 A-1: 100%  
A-2: 71%  
A-3: 50%

外壁架空配管注意事項

- ・管材は、すべて、20A、25A H I V Pとする。
- ・立て管、横走り管の支持金物取付ピッチは、すべて、1.0m以下とする。
- ・棒鋼及び、取付バンドは、すべて、S U S製とする。
- ・保温仕様は、P F保温筒+S U S製銅板巻上とする。

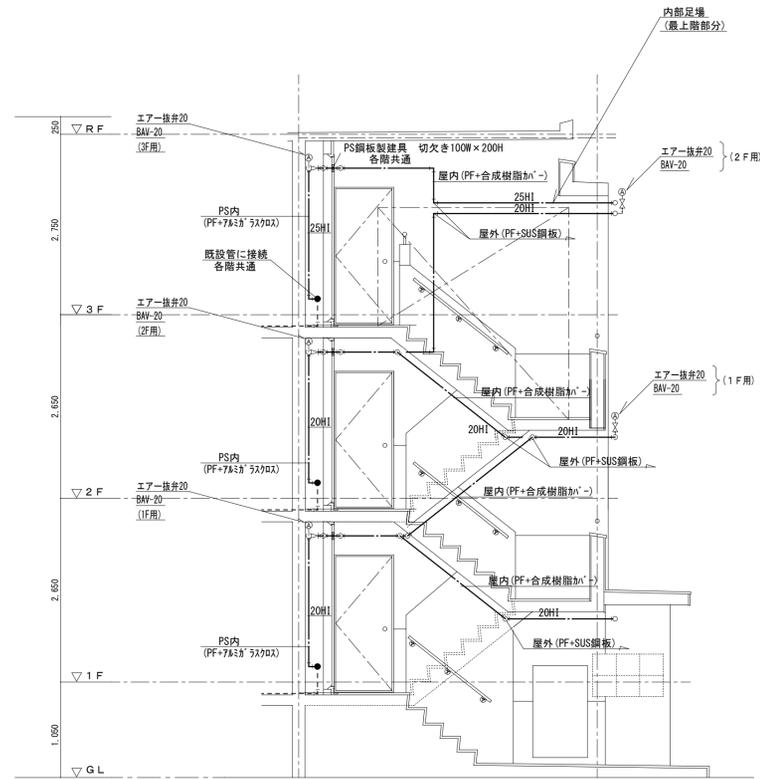
※仮設組足場設置及び、解体時は、入居者の通行には、十分に注意して、作業を行なう事。



北立面図 S=1:100

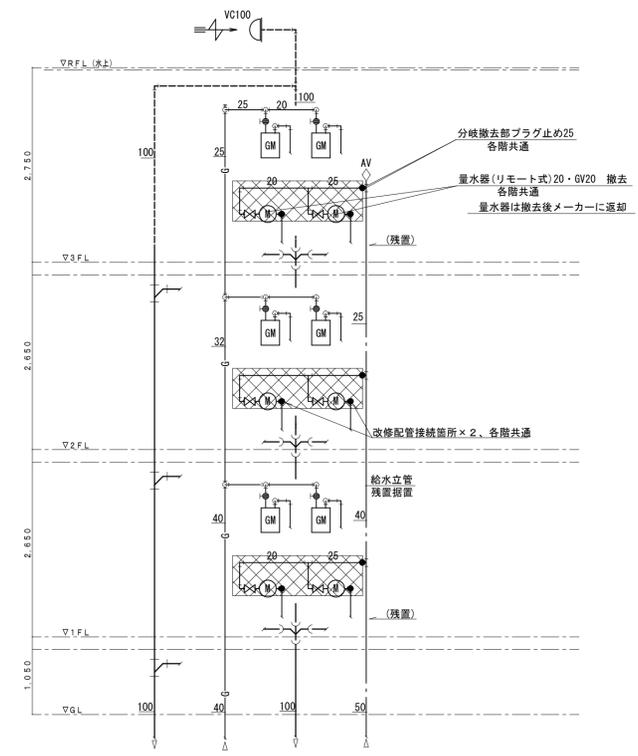
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

		<b>福山市建設局 建築部 設備課</b>		図面 N O W 1 0	
工事名称	福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事	日付	2024年 2月	I . 設 備 企 画	
図面名称	2号棟 北立面図 (改修後)	縮尺	1:100	〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長



2号棟階段室断面配管要領図 S=1:50

※ 階段室配管支持金物は1.0mピッチ以下とする。  
エア一括弁は、住戸配管の最頂部に設置する。



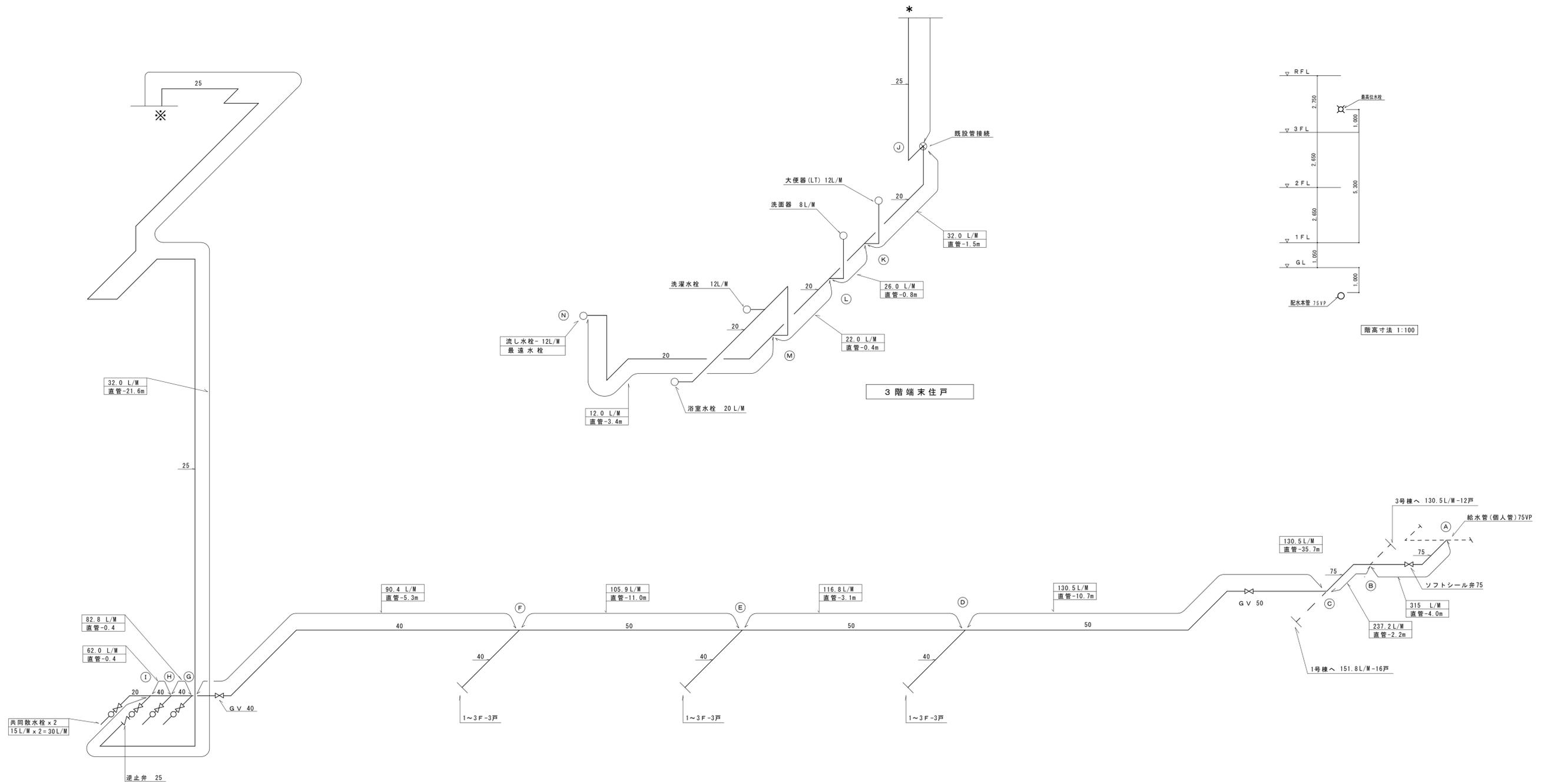
※汚水・雑排水・ガス配管は残置再使用  
 配管・弁類撤去範囲  
 保温材アスベスト含有範囲  
 20A90°曲り部、1Fフローア、1PS部分×7ヶ

既存 2号棟階段PS内配管系統図 NoScale

撤去器具リスト (住戸用)

GV (5K) 20A	6ヶ×2PS=12ヶ (1棟分)
量水器 (リモート式) 20A	6ヶ×2PS=12ヶ (1棟分)
量水器保温加 <sup>レ</sup> -(カワノ製) 20A用	6ヶ×2PS=12ヶ (1棟分)
PS内撤去給水管材 SGP-VB20、25A	
保温仕様・GW+綿布巻	

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



桃山住宅2号棟 給水管アイソメ図  
(直結直圧方式)

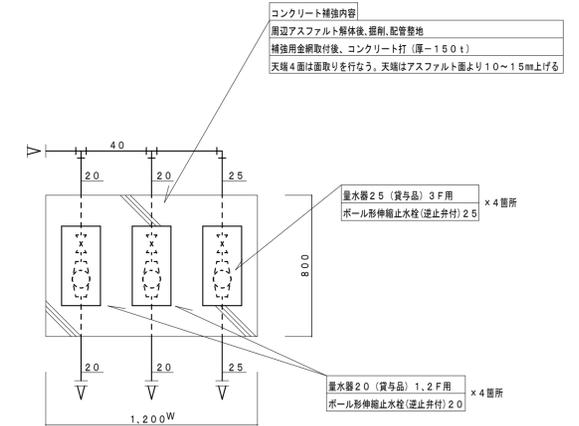
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局建築部設備課		図面NO. W	
工事名称 福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事	日付 2024年 2月	I. 設備企画	
図面名称 2号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	縮尺 NO SCALE	〒721-0952 広島県福山市理野五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	
主務	係員	第1担当次長	課長補佐
設備課長	建築部長		

凡例 (3号棟屋外)				
記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	配水本管～ メーター分岐配管迄 屋外地中配管 (共用給水管共)	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP) 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	裸・地中埋設配管 裸・地中埋設配管

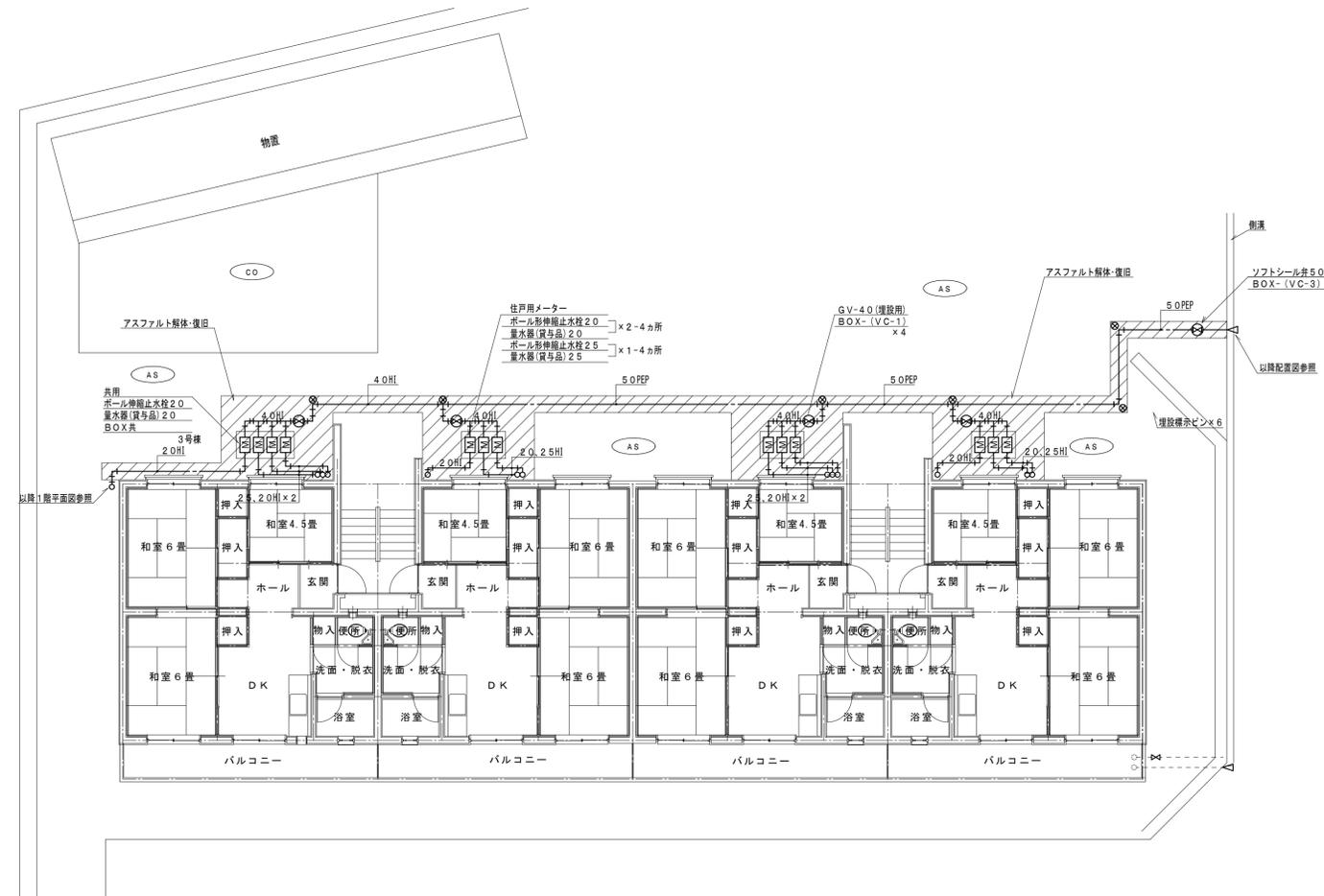
屋外給水器具リスト (3号棟)			
品名	仕様	数量	
ゲート弁	40 (埋設用)	4	
全上BOX	VC-1	4	
ソフトシール弁	50	1	
全上BOX	VC-3	1	
量水器	20 (貸与品) 直設式・(共用共)	9	
量水器	25 (貸与品) 直設式	4	
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 20	9	
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 25	4	
量水器BOX	20~25A用 (排鉄製)	13	
埋設標示ピン		6	

※共用量水器は、既設再使用とし、本工事で既設配管に接続する。



量水器BOX廻り要領図 S=1:20 (量水器3個設置の場合) 端末共用メーター併設部のWは1600とする。

※量水器の配置は、配管ルート(1~3F)に合わせる。

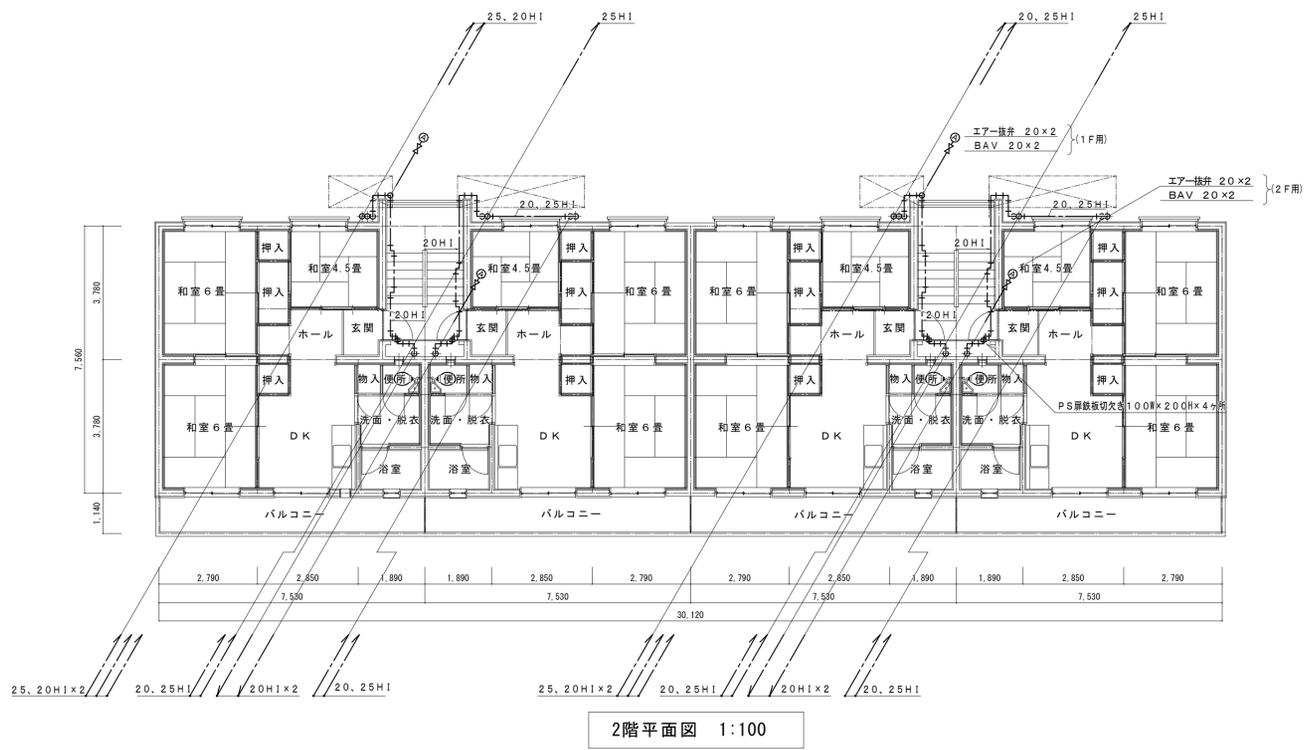


3号棟屋外配管図 S=1:100

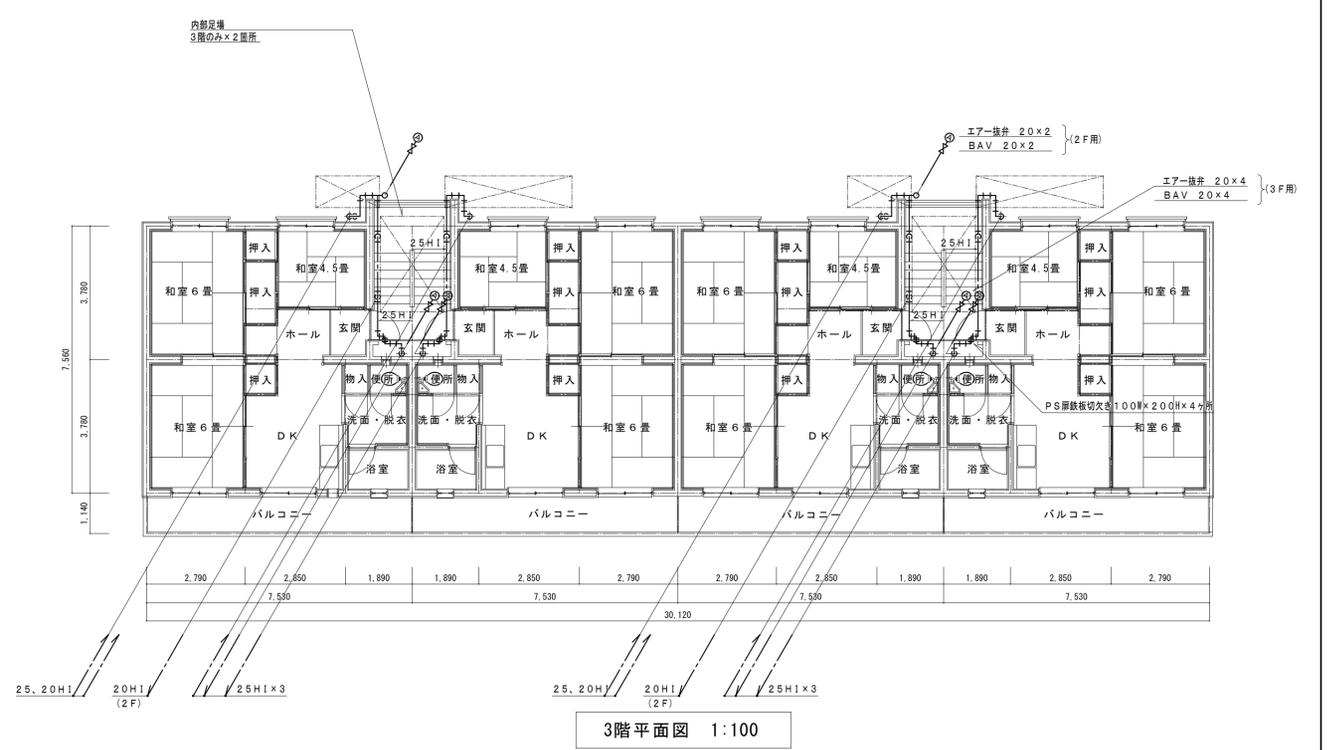
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局建築部設備課						図面NO.
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長	W
I 設備企画						13
〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877						

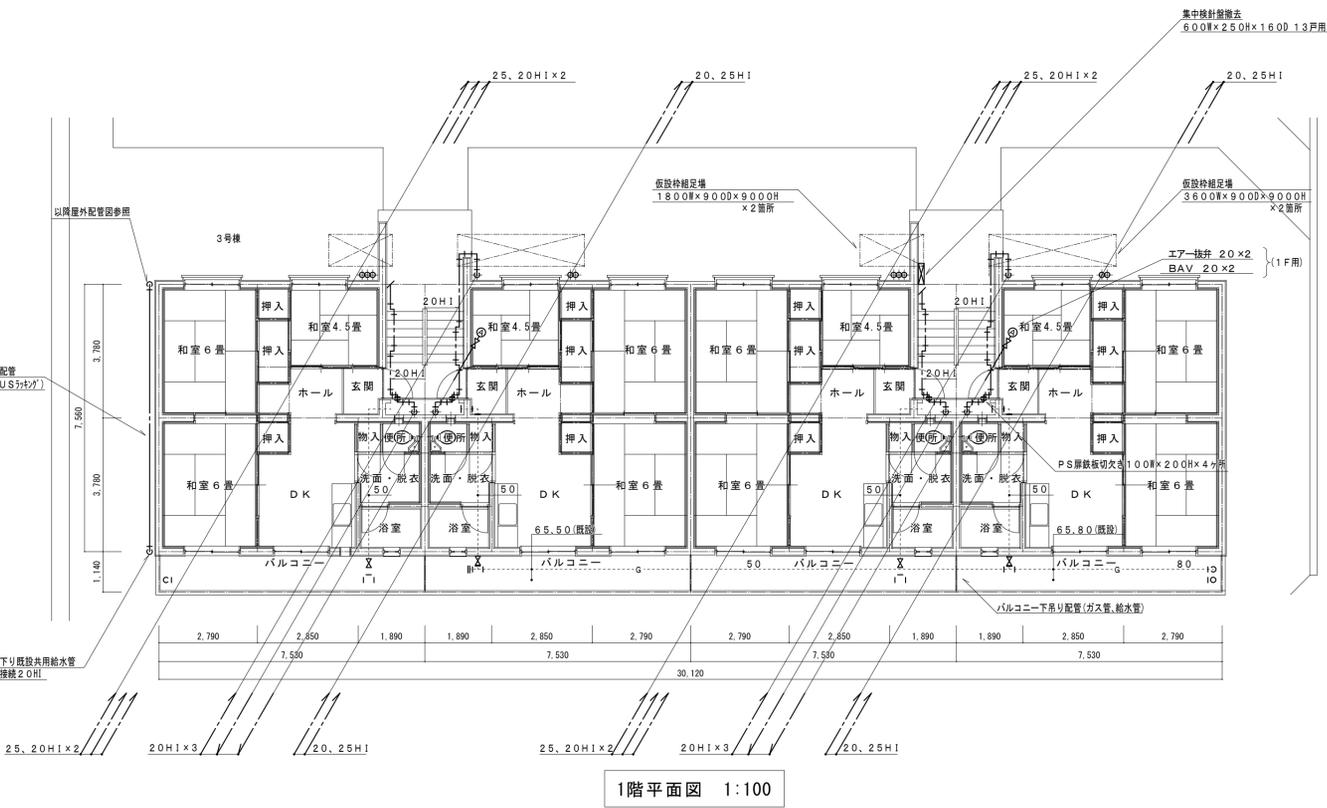
工事名称	日付
福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事	2024年 2月
図面名称	縮尺
3号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100



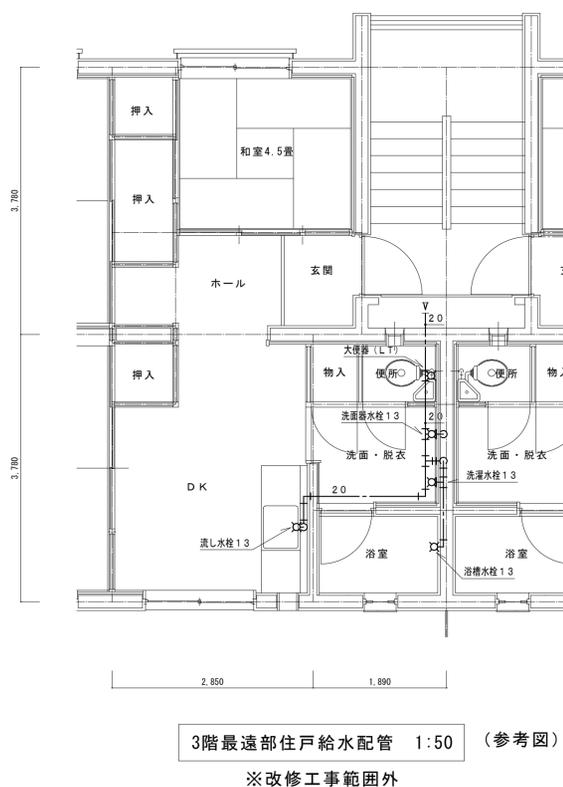
2階平面図 1:100



3階平面図 1:100



1階平面図 1:100



3階最遠部住戸給水管 1:50 (参考図)  
※改修工事範囲外

器具リスト (1~3F)

品名	仕様	数量
エアークレニ	20	12
ボールバルブ	20 (10K)	12

凡例 (屋内配管)

記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	外壁屋外配管 階段室、廊下部分	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+ステンレス鋼板
		階段室、露出配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+合成樹脂カバー
		P S 内	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	PF保温層+アルミガラスクロス

縮尺率 A-1: 100%  
A-2: 71%  
A-3: 50%

外壁架空配管注意事項

- ・管材は、すべて、20A、25A H I V Pとする。
- ・立て管、横走り管の支持金物取付ピッチは、すべて、1.0m以下とする。
- ・棒鋼及び、取付バンドは、すべて、S U S製とする。
- ・保温仕様は、P F保温筒+S U S製銅板巻上とする。

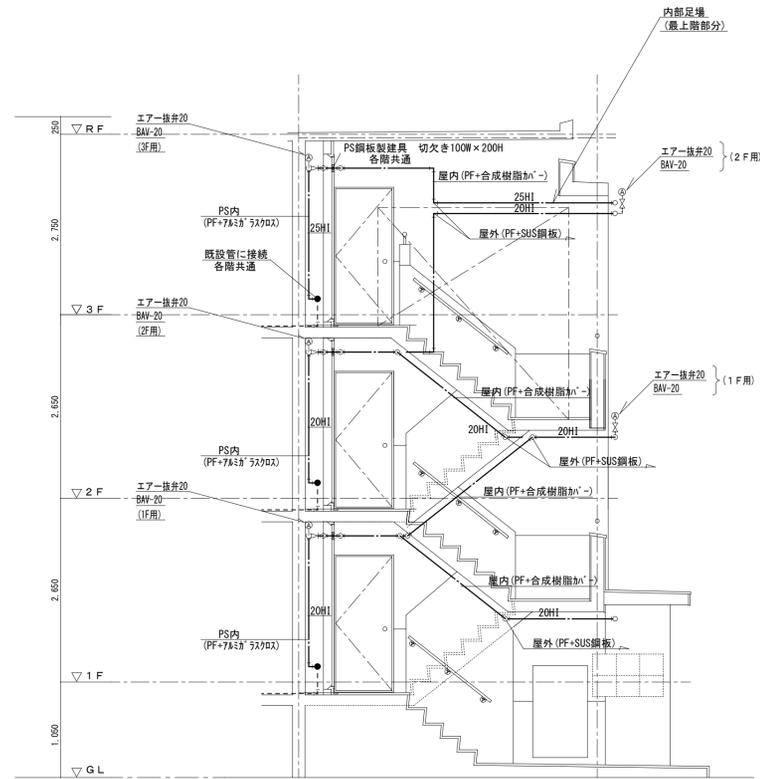
※仮設組足場設置及び、解体時は、入居者の通行には、十分に注意して、作業を行なう事。



北立面図 S=1:100

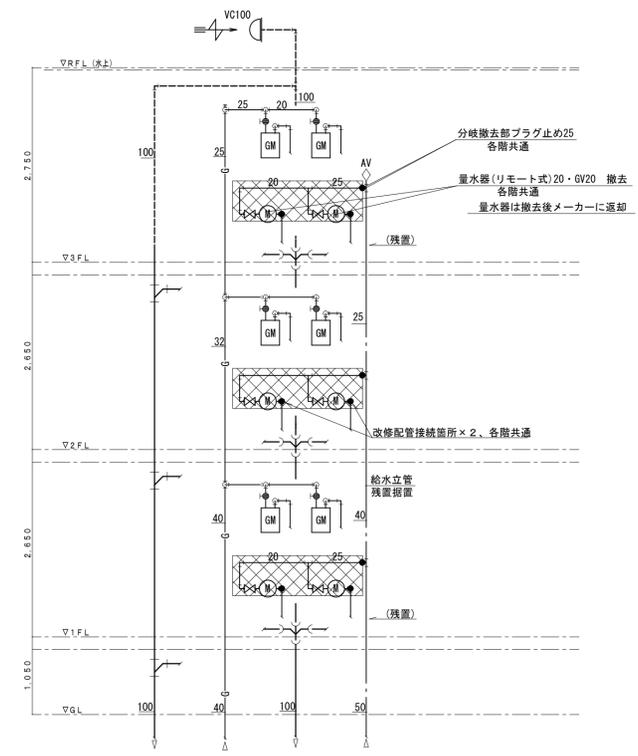
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

		福山市建設局建築部設備課		図面NO W 15	
工事名称 福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事		日付 2024年 2月		I. 設備企画	
図面名称 3号棟 北立面図 (改修後)		縮尺 1:100		〒721-0952 広島県福山市瑞町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長



3号棟階段室断面配管要領図 S=1:50

※ 階段室配管支持金物は1.0mピッチ以下とする。  
エア一抜弁は、住戸配管の最頂部に設置する。

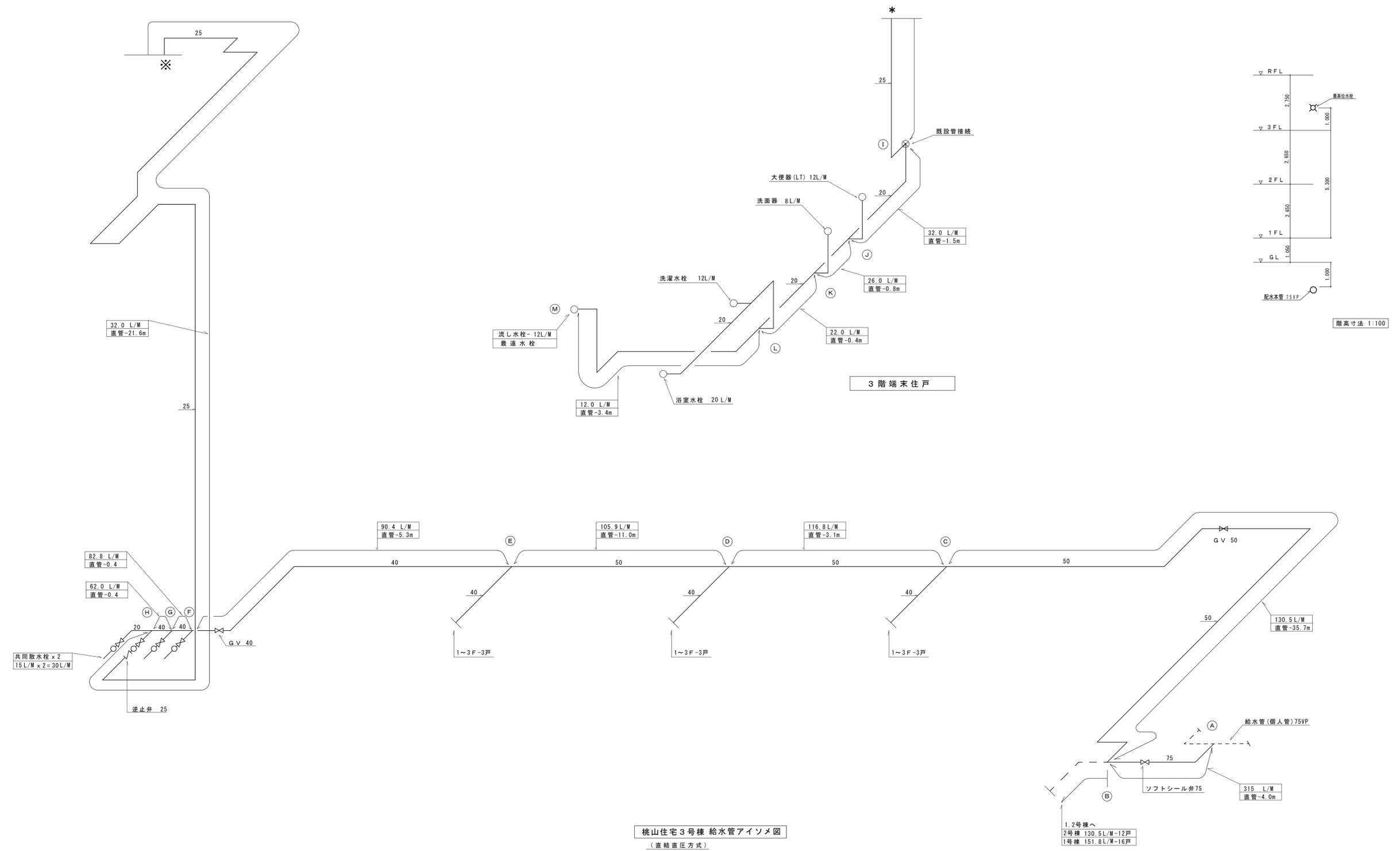


※汚水・雑排水・ガス配管は残置再使用  
 配管・弁類撤去範囲  
 保温材アスベスト含有範囲  
 20A90°曲り部、1Fフローア、1PS部分×7ヶ

既存 3号棟階段PS内配管系統図 NoScale

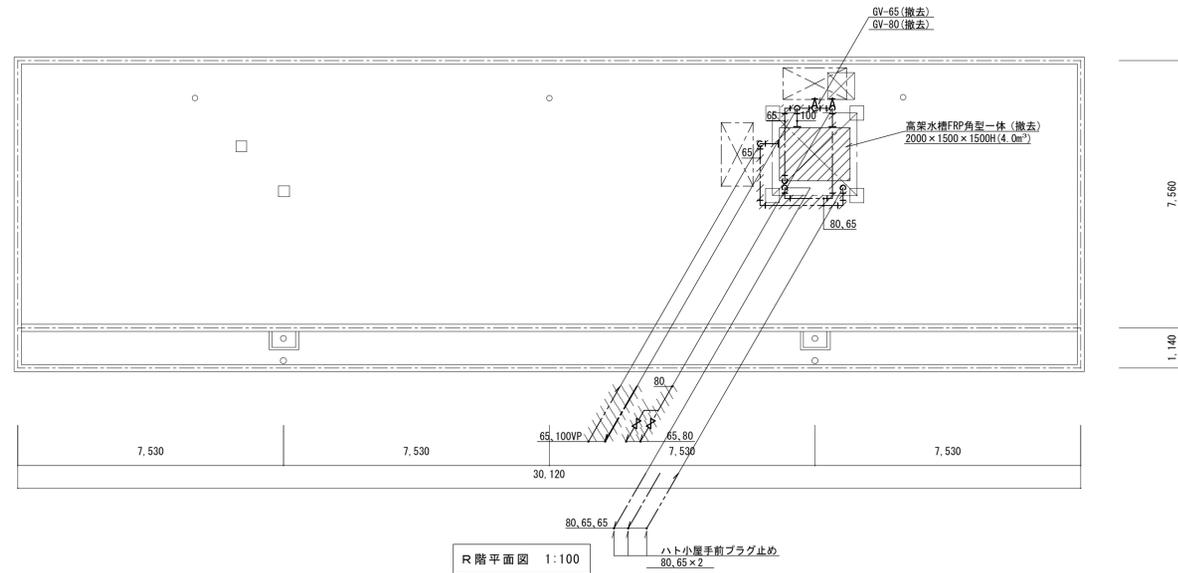
- 撤去器具リスト(住戸用)
- GV(5K)20A 6ヶ×2PS=12ヶ(1棟分)
  - 量水器(リモート式)20A 6ヶ×2PS=12ヶ(1棟分)
  - 量水器保温加<sup>レ</sup>(カワノ製)20A用 6ヶ×2PS=12ヶ(1棟分)
  - PS内撤去給水管材 SGP-VB20、25A
  - 保温仕様・GW+綿布巻

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

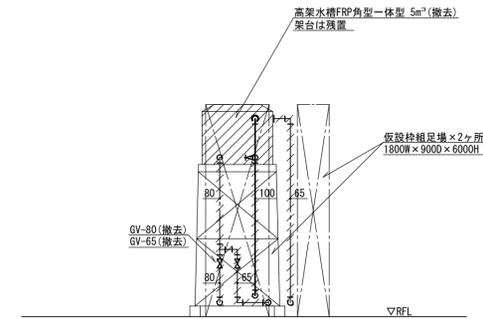


縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

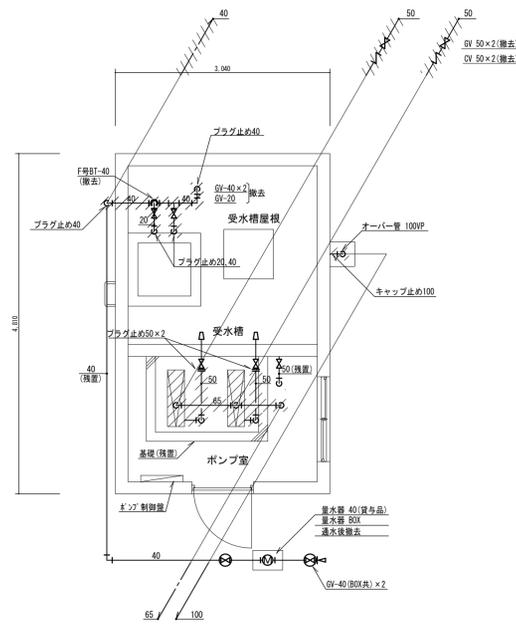
工事名称 <b>福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事</b>		日付 2024年 2月		<b>I. 設備企画</b>		福山市建設局建築部設備課		図面NO. W	
図面名称 <b>3号棟 給水管アイソメ図 (改修後)</b>		縮尺 NO SCALE		〒721-0952 広島県福山市理町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877		主務 係長 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長		17	



R階平面図 1:100



高架水槽廻り立面図 S=1:100



受水槽・ポンプ室廻り平面図 S=1:50

撤去機器リスト (ポンプ室)

品名	仕様	数量
揚水ポンプ	多段タービンポンプ (重量 - 158 kg)	2
	50 φ × 250 L/M × 42 M × 3.7 kw	
	TVSS06 × 3S-M3.7 (川本)	

ポンプ室廻り撤去管材

給水管	・ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) 保温	GW+綿布 (ポンプ室)
		GW+SUS鋼板 (屋外)
オーバー管ドレン管	・ポリ硬質塩化ビニル管 (V.P)	

ポンプ室内 アスベスト含有保温材処理

50A・90° エルボ・4箇所
65A・90° エルボ・2箇所

撤去機器リスト (屋上)

品名	仕様	数量
高架水槽	FRP一体式 4.0m³	1
	2.0 × 1.5 × 1.5H (重量≒210Kg)	
	鉄骨架台4.0Hは、残置とする。	

※ 高架水槽接続の電極用配線は、電気専門業者に依頼して取外し処置を行なう。

凡例 (屋上配管・高架水槽廻り)



給水・揚水管・ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)・保温材・GW+SUS鋼板巻  
オーバー・ドレン管・ポリ硬質塩化ビニル管 (V.P)

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局建築部設備課 図面NO. W 18

主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長

工事名称 福山市引野町桃山住宅1~3号棟給水設備改修工事  
日付 2024年 2月  
図面名称 R階平面図・ポンプ室平面図 (撤去)

I.設備企画  
〒721-0952  
広島県福山市環町五丁目2番41号  
TEL (084) 981-4877

# 参考数量書

§ 工事名称 福山市引野町桃山住宅1～3号棟給水設備改修工事

§ 工事場所 福山市引野町北二丁目地内

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

# 設 計 書

工事名称 福山市引野町桃山住宅 1 ~ 3号棟給水設備改修工事

工事場所 福山市引野町北二丁目地内

- 【工事概要】
- ・給水設備工事 ~ 一式
  - ・撤去工事 ~ 一式
  - ・発生材処理 ~ 一式
- 【別途工事】
- ・電気設備工事 ~ 一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		





1号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
屋内給水設備		1		式					
屋外給水設備		1		式					
撤去工事		1		式					
	計								



3号棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
屋内給水設備		1		式		
屋外給水設備		1		式		
撤去		1		式		
計						

共用部・道路部						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
屋外給水設備		1		式		
水道本管工事		1		式		
撤去		1		式		
	計					

発生材処理									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
発生材処理		1		式					
	計								

1号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
屋内給水設備		1	式		
計					
屋外給水設備		1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					











1号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 20A	39	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 25A	13	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 50A	9	m			
水道配水用ホリ塩ビ管	EF継手接合 地中配管 50A	19	m			
水道配水用ホリ塩ビ管	EF継手接合 地中配管 75A	9	m			
ワットシール弁	50A	4	個			
ワットシール弁	75A	1	個			
量水器 取付	20A	13	個			
量水器 取付	25A	4	個			
給水装置工事手数料	口径25mm以下	17	件			
ホリ型伸縮止水栓(逆止弁付)	20A	13	個			
ホリ型伸縮止水栓(逆止弁付)	25A	4	個			
量水器樹	機械 MC-1( 450H)	17	組			
弁樹	機械 VC-3( 700H)	4	組			
弁樹	レジン製	1	組			
地中埋設標	鉄製	6	個			
埋設標識テープ	150幅	89	m			
雑工事		1	式			別紙 00-0005
土工事		1	式			別紙 00-0006
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0007



1号棟		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	16	m			
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	6	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプ内 70mm 化粧筒 20A 再使用しない	16	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプ内 70mm 化粧筒 25A 再使用しない	6	m			
量水器 撤去	20A	17	個			
伸縮止水栓 撤去	20A	1	個			
量水器BOX 撤去	20A用	1	個			
メーター保温カバー 撤去	20A用 ムルタ製	16	個			
集中検針盤 撤去	17戸用 520W × 420H × 125D	1	面			
建設発生材運搬	特定建設資材以外	0.1	t			
70mm 寸含有材撤去	鋼管20A	56	か所			
建設発生材運搬	70mm 寸含有材	1	運転日			
計						



2号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 20A	31	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 25A	14	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 40A	11	m			
水道配水用ホリ塩ビ管	EF継手接合 地中配管 50A	25	m			
ワトシ弁	50A	1	個			
青銅仕切弁 (埋設用)	10K(ねじ) 40A	4	個			
量水器 取付	20A	9	個			
量水器 取付	25A	4	個			
給水装置工事手数料	口径25mm以下	13	件			
ホリ型伸縮止水栓 (逆止弁付)	20A	9	個			
ホリ型伸縮止水栓 (逆止弁付)	25A	4	個			
量水器柵	機械 MC-1( 450H)	13	組			
弁柵	機械 VC-1( 550H)	4	組			
弁柵	機械 VC-3( 700H)	1	組			
地中埋設標	鉄製	6	個			
埋設標識テープ	150幅	81	m			
雑工事		1	式			別紙 00-0013
土工事		1	式			別紙 00-0014
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0015
計						

2号棟		撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	12	m			
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミ化粧化粧筒 20A 再使用しない	12	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミ化粧化粧筒 25A 再使用しない	4	m			
量水器 撤去	20A	13	個			
伸縮止水栓 撤去	20A	1	個			
量水器BOX 撤去	20A用	1	個			
メーター保温カバー 撤去	20A用 アルミ製	12	個			
集中検針盤 撤去	13戸用 600W × 250H × 160D	1	面			
建設発生材運搬	特定建設資材以外	0.1	t			
アスベスト含有材撤去	鋼管20A	42	か所			
建設発生材運搬	アスベスト含有材	1	運転日			
計						

3号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	屋内一般 20A	133	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	屋内一般 25A	76	m			
青銅ホリ弁	10K(ねじ) 20A	12	個			
自動17弁	20A	12	個			
保温		1	式			別紙 00-0016
既設管接続		1	式			別紙 00-0017
雑工事		1	式			別紙 00-0018
仮設足場		1	式			別紙 00-0019
仮設足場	内部足場	1	式			別紙 00-0034
計						

3号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 20A	32	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 25A	14	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 40A	11	m			
水道配水用ホリ塩ビ管	EF継手接合 地中配管 50A	25	m			
ワットル弁	50A	1	個			
青銅仕切弁 (埋設用)	10K(ねじ) 40A	4	個			
量水器 取付	20A	9	個			
量水器 取付	25A	4	個			
ホリ型伸縮止水栓 (逆止弁付)	20A	9	個			
ホリ型伸縮止水栓 (逆止弁付)	25A	4	個			
給水装置工事手数料	口径25mm以下	13	件			
量水器柵	機械 MC-1( 450H)	13	組			
弁柵	機械 VC-1( 550H)	4	組			
弁柵	機械 VC-3( 700H)	1	組			
地中埋設標	鉄製	6	個			
埋設標識テープ	150幅	82	m			
雑工事		1	式			別紙 00-0021
土工事		1	式			別紙 00-0022
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0023
計						

3号棟 撤去						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	12	m			
塩ビライン管 鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプ内 アルミ化粧筒 20A 再使用しない	12	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプ内 アルミ化粧筒 25A 再使用しない	4	m			
量水器 撤去	20A	13	個			
伸縮止水栓 撤去	20A	1	個			
量水器BOX 撤去	20A用	1	個			
メーター保温カバー 撤去	20A用 アルミ製	12	個			
集中検針盤 撤去	13戸用 600W × 250H × 160D	1	面			
建設発生材運搬	特定建設資材以外	0.1	t			
アスベスト含有材撤去	鋼管20A	42	か所			
建設発生材運搬	アスベスト含有材	1	運転日			
計						





共用部・道路部		撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0028
配管類撤去		1	式			別紙 00-0029
建設発生材運搬	特定建設資材以外	0.8	t			
計						



1号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温		1	式			別紙 00-0001
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 20A	32	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 25A	14	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,ハ <sup>1</sup> イ <sup>1</sup> シャ <sup>1</sup> 内 7M <sup>1</sup> ガ <sup>1</sup> ラ <sup>1</sup> シ <sup>1</sup> 化 <sup>1</sup> 粧 <sup>1</sup> 筒 20A	40	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,ハ <sup>1</sup> イ <sup>1</sup> シャ <sup>1</sup> 内 7M <sup>1</sup> ガ <sup>1</sup> ラ <sup>1</sup> シ <sup>1</sup> 化 <sup>1</sup> 粧 <sup>1</sup> 筒 25A	10	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステン <sup>1</sup> ス <sup>1</sup> 鋼 <sup>1</sup> 板 20A	122	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステン <sup>1</sup> ス <sup>1</sup> 鋼 <sup>1</sup> 板 25A	64	m			
計						
既設管接続		1	式			別紙 00-0002
既設管接続 (鋼管類)	屋内一般 20A 保温有	16	か所			
計						
雑工事		1	式			別紙 00-0003
鉄板切欠き	100W x 200H	16	か所			
計						

1号棟 屋内給水設備						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設足場	外部足場	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 供用賃料,修理費,基本 料含む 22m未満	130	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	130	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間,供用賃料,修理費,基 本料含む	130	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		130	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	14	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間,供用賃料,修理費,基本 料含む	14	m			
計						
仮設足場	内部足場	1	式			別紙 00-0032
内部階段仕上足場		8	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		8	m <sup>2</sup>			
計						

1号棟 屋外給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
雑工事		1	式			別紙 00-0005
量水器4個用補強	1,600×800×150H	3	か所			
量水器5個用補強	2,000×800×150H	1	か所			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0006
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	26	m3			
ダスト		4	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	22	m3			
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式加圧型0.13m3	1	往復			
建設発生土運搬		4	m3			
計						

1号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0007
<アスファルト仮舗装>						
アスファルト仮舗装	A-3-10 再生密粒 再生クワッチャラン 人 力	44	m <sup>2</sup>			
(取り壊し) 仮舗装用						
カッター入れ		63	m			
アスファルト舗装取り壊し		2.2	m <sup>3</sup>			
(アスファルト本舗装)						
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クワッチャラン 500m <sup>2</sup> 未満	53	m <sup>2</sup>			
(取り壊し) 本舗装用						
カッター入れ		64	m			
アスファルト舗装取り壊し		1.8	m <sup>3</sup>			
舗装機械運搬 (アスファルトフィニッシャ)		2	往復			
建設発生材運搬	アスファルト	4	m <sup>3</sup>			
計						

2号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温		1	式			別紙 00-0008
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 20A	22	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 25A	11	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,パイプシャフト内 汎用強化化粧筒 20A	23	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,パイプシャフト内 汎用強化化粧筒 25A	12	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A	74	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	53	m			
計						
既設管接続		1	式			別紙 00-0009
既設管接続 (鋼管類)	屋内一般 20A 保温有	12	か所			
計						
雑工事		1	式			別紙 00-0010
鉄板切欠き	100W × 200H	12	か所			
計						

2号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設足場		1	式			別紙 00-0011
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 供用賃料, 修理費, 基本 料含む 22m未満	97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	97	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基 本料含む	97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	10	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基本 料含む	10	m			
計						
仮設足場	内部足場	1	式			別紙 00-0033
内部階段仕上足場		8	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		8	m <sup>2</sup>			
計						

2号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
雑工事		1	式			別紙 00-0013
量水器4個用補強	1,600×800×150H	1	か所			
量水器3個用補強	1,200×800×150H	3	か所			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0014
根切り(機械)	ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加-ラ型	27	m3			
ダスト		4	m3			
埋戻し	機械ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加-ラ型	23	m3			
建設発生土運搬		4	m3			
計						

2号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0015
<アスファルト仮舗装>						
アスファルト仮舗装	A-3-10 再生密粒 再生クワッチャラン 人 力	42	m <sup>2</sup>			
(取り壊し) 仮舗装用						
カッター入れ		56	m			
アスファルト舗装取り壊し		2.1	m <sup>3</sup>			
(アスファルト舗装)						
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クワッチャラン 500m <sup>2</sup> 未満	54	m <sup>2</sup>			
(取り壊し)						
カッター入れ		57	m			
アスファルト舗装取り壊し		1.9	m <sup>3</sup>			
建設発生材運搬	アスファルト	4	m <sup>3</sup>			
計						

3号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温		1	式			別紙 00-0016
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 20A	22	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋内露出 合成樹脂製加 <sup>1</sup> -1 25A	11	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,パイプシャフト内 汎用 <sup>1</sup> 強化化粧筒 20A	27	m			
給水管 保温	ポリスレン 天井内,パイプシャフト内 汎用 <sup>1</sup> 強化化粧筒 25A	12	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A	84	m			
給水管 保温	ポリスレン 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	53	m			
計						
既設管接続		1	式			別紙 00-0017
既設管接続 (鋼管類)	屋内一般 20A 保温有	12	か所			
計						
雑工事		1	式			別紙 00-0018
鉄板切欠き	100W × 200H	12	か所			
計						

3号棟		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設足場		1	式			別紙 00-0019
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 供用賃料, 修理費, 基本 料含む 22m未満	97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	97	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基 本料含む	97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		97	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	10	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基本 料含む	10	m			
計						
仮設足場	内部足場	1	式			別紙 00-0034
内部階段仕上足場		8	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		8	m <sup>2</sup>			
計						

3号棟		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
雑工事		1	式			別紙 00-0021
量水器4個用補強	1,600 × 800 × 150H	1	か所			
量水器3個用補強	1,200 × 800 × 150H	3	か所			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0022
根切り(機械)	ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加-ラ型	27	m3			
ダスト		4	m3			
埋戻し	機械ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加-ラ型	23	m3			
建設発生土運搬		4	m3			
計						



共用部・道路部		屋外給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
土工事		1	式			別紙 00-0024
根切り(機械)	ハックル 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	26	m3			
ガス		10	m3			
埋戻し	機械ハックル 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	16	m3			
建設発生土運搬		10	m3			
計						
アスファルト舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0025
<アスファルト仮舗装>						
アスファルト仮舗装	A-3-10 再生密粒 再生クラッシュ 人カ	37	m <sup>2</sup>			
(取り壊し) 仮舗装用						
カッター入れ		111	m			
アスファルト舗装取り壊し		1.9	m3			
(アスファルト舗装)						
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クラッシュ 500m <sup>2</sup> 未満	64	m <sup>2</sup>			
(取り壊し)						
カッター入れ		112	m			
アスファルト舗装取り壊し		2.5	m3			
建設発生材運搬	アスファルト	4.4	m3			
計						

共用部・道路部		水道本管工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
75 不断水分岐		1	式			別紙 00-0026
管材費						
PEP	75	1	本			
不断水割丁字管V付F型	75VP x 75	1	組			
EFソケット	75	3	個			
EFソケット	50	6	個			
EFA' ント' 両受け	75 x 90°	3	個			
PE挿し口付ワング短管	75	1	個			
PE挿し口付ワトシル弁	75	1	個			
仕切弁ボックス	75,50	1	か所			
ワング 接合材	75 以下	1	か所			
ナイロンテープ、シート、テープ	75 以下	3	m			
消耗品雑材		1	式			
土工事費						
舗装切断工	As 10cm以下 15m	1	式			
舗装版処分 (積込、運搬)	As DT2t BH0.1m <sup>2</sup>	1	式			
掘削、埋め戻し残土処分	入替 DT2t BH0.1m <sup>2</sup>	3	m <sup>3</sup>			
舗装仮復旧	As t=3cm	4	m <sup>2</sup>			
舗装本復旧(路盤工共)	As t=5cm	4	m <sup>2</sup>			
配管工事費						

共用部・道路部		水道本管工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
75 不断水分岐		1	式			別紙 00-0026
管布設工	75 以下	2	m			
不断水分岐工	100 VP x 75	1	箇所			
EF接合工	75 以下	5	箇所			
埋設テープ、スリーブ、ワイヤ		3	m			
仕切弁設置	75 以下	1	か所			
フランジ接合工	75 以下	1	か所			
安全費（運搬費含む）		1	式			
計						

共用部・道路部		水道本管工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
50 切取り撤去		1	式			別紙 00-0027
管材費						
HIVP	50	1	m			
VVｼﾞョｲﾝﾄ	50	2	個			
ホﾟﾘﾌﾟﾝｼﾞｭｰﾌﾞ	75 以下	2	m			
消耗品、雑材		1	式			
土工事費						
舗装切断工	As 10cm以下 15m	1	式			
舗装版処分 (積込、運搬)	As DT2t BH0.1m <sup>3</sup>	1	式			
掘削、埋め戻し残 土処分	入替 DT2t BH0.1m <sup>3</sup>	3	m <sup>3</sup>			
舗装仮復旧	As t=3cm	4	m <sup>2</sup>			
舗装本復旧(路盤 工共)	As t=5cm	4	m <sup>2</sup>			
配管工事費						
管布設	75 以下	1	m			
撤去工	50 VP	1	式			
ホﾟﾘﾌﾟﾝｼﾞ ｽﾘｰﾌﾞ工	75 以下	2	か所			
安全費(運搬費含 む)		1	式			
計						



共用部・道路部		撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0029
塩ビライン管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	1	m			
塩ビライン管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 40A	5	m			
塩ビライン管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 50A	4	m			
塩ビライン管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 65A	18	m			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 撤去	屋内一般 100A	6	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 50A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 65A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ｸﾞｰ垂鉛鉄板 20A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ｸﾞｰ垂鉛鉄板 40A 再使用しない	5	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ｸﾞｰ垂鉛鉄板 65A 再使用しない	15	m			
仕切弁 撤去	65A	1	個			
仕切弁 撤去	80A	1	個			
定水位調整弁 撤去	40A	1	個			
量水器 撤去	40A	1	個			
量水器柵 撤去	40A用	1	個			
弁柵 撤去	40A	2	個			
防虫網 撤去	100A	2	個			
プラグ止め	20A SGP-VB	1	か所			
プラグ止め	40A SGP-VB	3	か所			

共用部・道路部		撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0029
ﾌﾟﾗｸﾞ 止め	65A SGP-VB	2	か所			
ﾌﾟﾗｸﾞ 止め	80A SGP-VB	1	か所			
ｷｯﾌﾟ 止め	100A	1	か所			
ｽﾀﾝﾄﾞ 含有材撤去	鋼管50A	4	か所			
ｽﾀﾝﾄﾞ 含有材撤去	鋼管65A	2	か所			
建設発生材運搬	ｽﾀﾝﾄﾞ 含有材	1	運転日			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 供用賃料, 修理費, 基本 料含む 22m未満	22	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	22	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基 本料含む	22	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		22	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	7	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間, 供用賃料, 修理費, 基本 料含む	7	m			
計						



